

まちだ未来づくりビジョン2040 町田市 5 カ年計画 22-26 2025 年度の取り組み結果

— 本編 —



2026年8月
町田市

目 次

1	まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26	
(1)	まちだ未来づくりビジョン2040とは	3
(2)	町田市5ヵ年計画22-26とは	6
2	まちづくり基本目標の取り組み結果	
(1)	施策の達成状況	8
3	重点事業プランの取り組み結果	
(1)	まちづくり基本目標との関係性	11
(2)	取り組み結果一覧	11
	＜事業の達成状況と主な成果＞	
	政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	18
	政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる	22
	政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	32
	政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる	38
	政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる	43
	政策6 つながりを力にするまちになる	46
	政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる	49
	政策8 思わず出歩きたくまちになる	53
	政策9 みんなが安心できる強いまちになる	60
4	経営基本方針の取り組み結果	
(1)	経営基本方針の達成状況	65
5	経営改革プランの取り組み結果	
(1)	経営基本方針との関係性	66
(2)	取り組み結果一覧	66
(3)	経営改革プランの効果額一覧	70
	＜取り組みの達成状況と主な成果＞	
	基本方針1 共創で新たな価値を創造する	73
	基本方針2 対話を通して市役所能力を高める	76
	基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する	79
6	「財政見通し」と決算見込額との比較分析	
(1)	計画額と決算見込額との比較	83
(2)	2025年度（令和7年度）の財政指標	84

1 まちだ未来づくりビジョン2040と町田市5ヵ年計画22-26

まちだ未来づくりビジョン2040は、町田市の市政運営の基本となるビジョンです。

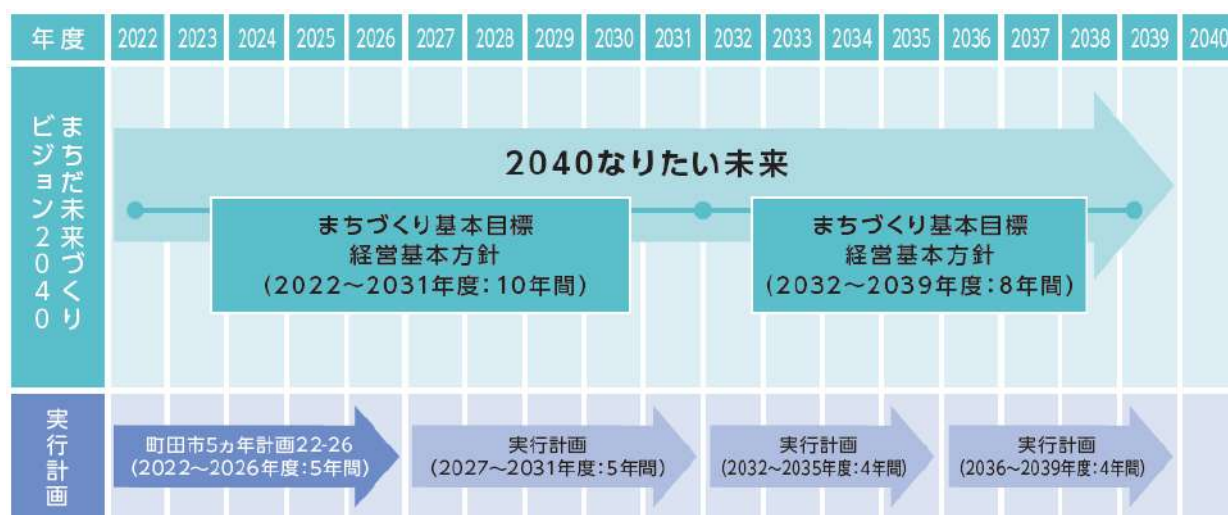
基本構想部分の「2040年りたい未来」は2039年度までの18年間を、基本計画部分の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」は2031年度までの10年間を期間としています。

そして、これらの実行計画となる町田市5ヵ年計画22-26は、2022年度から2026年度までの5年間を期間としています。

■計画の構成



■計画の期間



(1) まちだ未来づくりビジョン2040とは

○基本構想部分

「2040年りたい未来」では、まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を3つの“年りたいまちの姿”（都市像）、1つの“行政経営の姿”（経営像）として掲げています。また、それらからイメージされる未来の町田市を一言で表すキャッチコピーを「なんだ かんた まちだ」と定めています。

➤「なんだ かんた まちだ」とは

「なんだかんた言っても町田が一番。」と誰もが感じることのできるまち、みんなに愛される、ほかにはないユニークなまちのイメージをキャッチコピーで表現しています。

■「2040 年 なるたい未来」の構成



➤3つの“なるたいまちの姿”の成り立ち

“なるたいまちの姿”は、タウンミーティング等、市民の皆さんとの意見交換会で多くいただいた「子ども」、「暮らし」、「つながり」に関することをキーワードに、ワークショップ等を通して多くの方の想いを集めることで作られました。

- ◆「子 ど も」：ここでの成長がカタチになるまち
- ◆「暮 ら し」：わたしの“ココチよさ”がかなうまち
- ◆「つながり」：誰もがホッとできるまち

町田市では、2040 年に向けて“なるたいまちの姿”（都市像）と“行政経営の姿”（経営像）を実現し、多くの皆さんに「なんだかんた言っても、やっぱり町田が一番」と思ってもらえるようなまちづくりを進めています。

○基本計画部分

「2040 になりたい未来」で掲げた、“なりたいまちの姿”と“行政経営の姿”を実現させるため、まちづくりの方向性と行政経営の方向性に沿って、何を目標にどのようにまちづくりを進めるかを体系的に示す、市政運営の基本となる 10 年間の計画です。

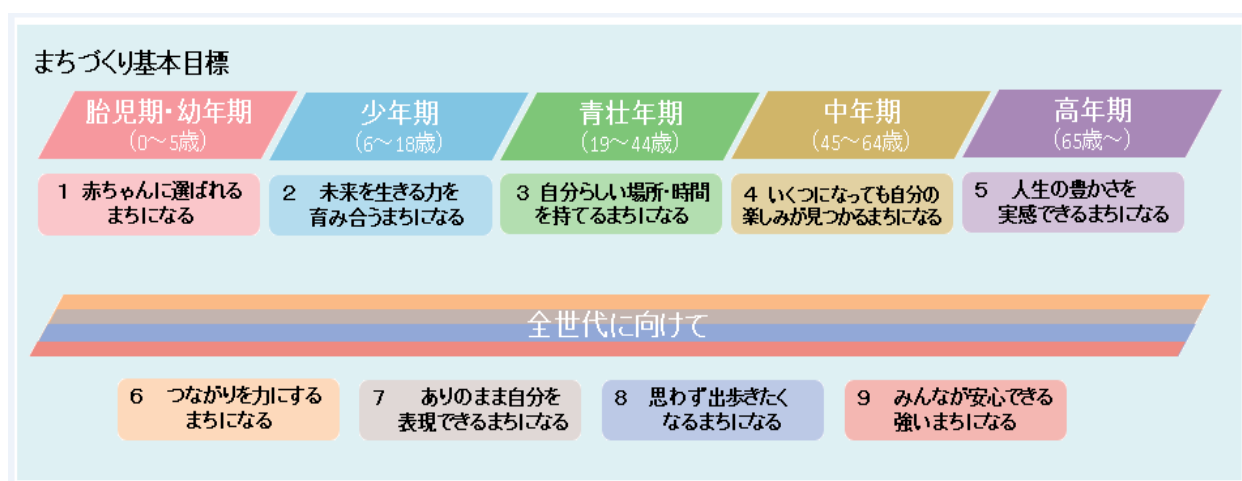
<まちづくり基本目標の構成>

3 つの“なりたいまちの姿”の実現に向けて、9 つの政策を軸に施策を体系的に示しています。

- 政策 1 赤ちゃんに選ばれるまちになる
- 政策 2 未来を生きる力を育み合うまちになる
- 政策 3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる
- 政策 4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる
- 政策 5 人生の豊かさを実感できるまちになる
- 政策 6 つながりを力にするまちになる
- 政策 7 ありのまま自分を表現できるまちになる
- 政策 8 思わず出歩きたくなるまちになる
- 政策 9 みんなが安心できる強いまちになる

➤まちづくり基本目標の特長

それぞれ生き方の違う人が、人生のどの段階においても当てはまるよう、ライフステージごとに政策を定め、「自分ゴト」として捉えられるようにしているのが特長です。



<経営基本方針の構成>

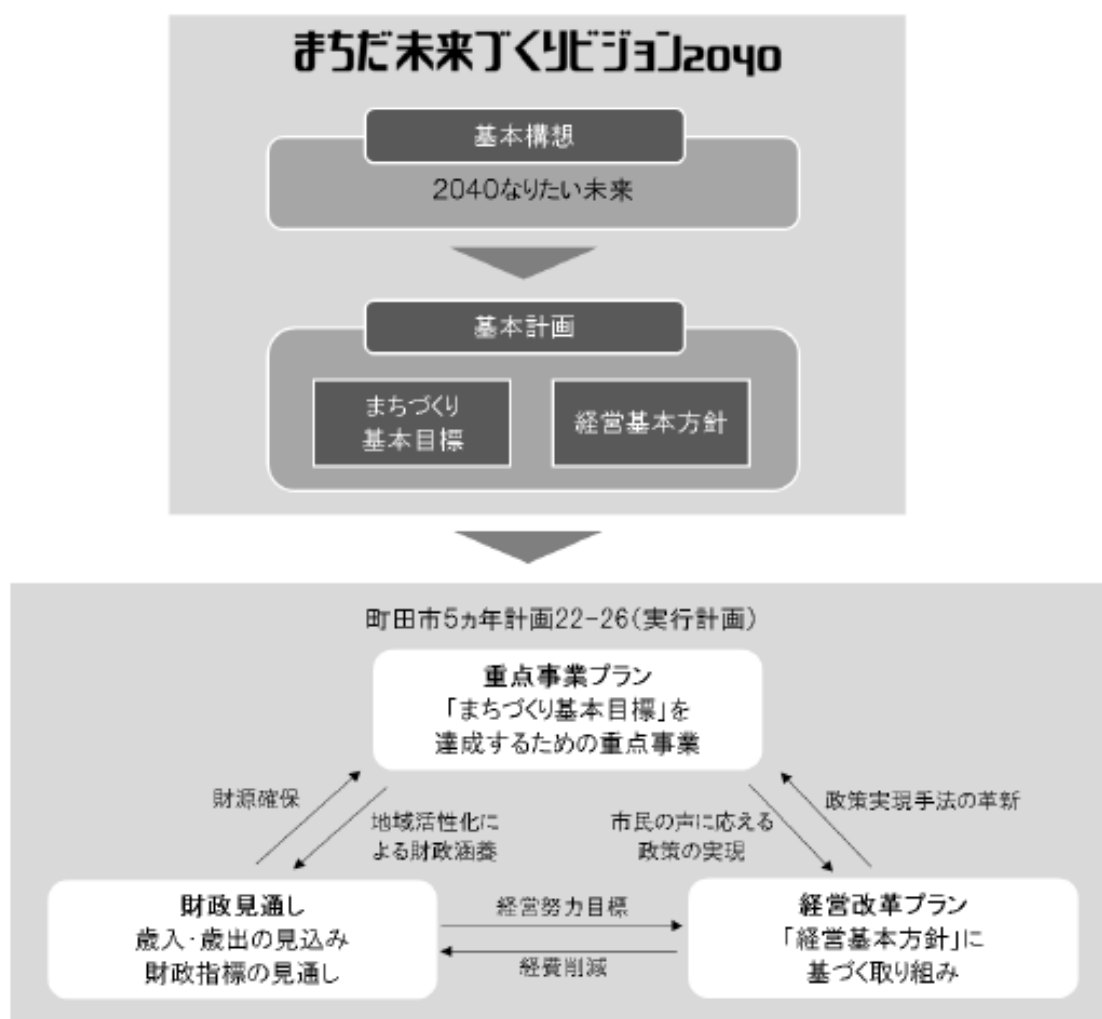
“行政経営の姿”を実現するための方針を体系的に示し、まちづくり基本目標の実現を支えます。

- 基本方針 1 共創で新たな価値を創造する
- 基本方針 2 対話を通して市役所能力を高める
- 基本方針 3 次世代につなぐ財政基盤を確立する

(2) 町田市5ヵ年計画22-26とは

まちだ未来づくりビジョン2040の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」の達成に向け、財政見通しに基づいて、どのようにまちづくりを行い、何に重点的に取り組んでいくのかを「重点事業（重点事業プラン）」と「改革の取り組み（経営改革プラン）」として定め、総合的かつ計画的に進めていくため、実行計画として町田市5ヵ年計画22-26を策定しています。

「重点事業」は、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる政策や施策（まちづくり基本目標）に、「改革の取り組み」は、基本方針や改革項目（経営基本方針）にそれぞれ紐づき、ビジョン実現のための具体的な活動としています。



➡次ページからは、まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」ごとに、それぞれに紐づく施策と改革項目、町田市5ヵ年計画22-26の「重点事業プラン」と「経営改革プラン」の、2025年度の取り組みと設定した指標の状況を記載しています。

まちづくり基本目標

2 まちづくり基本目標の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040のまちづくり基本目標に掲げる9つの政策を受け、その実現に向けて体系づけた「施策」と重点的に取り組む「重点事業」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

(1) 施策の到達状況

各施策に設定した指標の目標値に対する2025年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2025年度)
政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる				
施策	1-1:魅力ある子育て環境をつくる			
	0歳から14歳の転入超過割合(10年平均)	54.7%	60.0%	38.7%
	1-2:多様な子育てサービスを提供する			
	認可保育所待機児童数	76人	0人	※1 90人
政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる				
施策	2-1:子どもが自分らしく育つ場を提供する			
	子どもの居場所が確保されていると思う市民の割合	40.3%	50.0%	36.1%
	意見表明を始めとする子どもの市政への参画がされていると思う市民の割合	8.4%	20.0%	17.1%
	2-2:学ぶ意欲を育てる			
	※2 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている割合	小6 78.6% 中3 77.5%	小6 85.0% 中3 85.0%	小6 84.7% 中3 85.4%
	全国体力・運動能力、運動習慣等調査「体力合計点」 (全国平均を100とした場合)	<小5> 男子 100 女子 99	<小5> 男子 104 女子 103	<小5> 男子 99 女子 98
		<中2> 男子 95 女子 96	<中2> 男子 100 女子 100	<中2> 男子 98 女子 97
	※3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる割合	小6 76.0% 中3 73.9%	小6 80.0% 中3 80.0%	小6 80.3% 中3 71.9%
	2-3:教育環境を充実させる			
	小学校・中学校の教育環境が整っていると思う市民の割合	33.3%	60.0%	44.7%
	学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	小6 85.8% 中3 78.4%	小6 90.0% 中3 83.0%	小6 88.5% 中3 87.1%
	2-4:地域の教育力を高める			
	※4 学校は、学校運営協議会の制度を生かし、地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合	—	小 100% 中 100%	小 83.4% 中 75.1%

※1 認可保育所待機児童数の2025年度実績値は、2025年度の取り組み結果が反映される2026年4月公表の数値を記載しています。

※2 ※3 ビジョン策定時、※2については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、※3については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

※4 2025年度から「学校運営協議会の制度を生かし」という表現を追記しています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2025年度)
政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる				
施策	3-1:ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる			
	付加価値額	5,416億円	6,000億円	—※5
	3-2:町田ならではの地域資源をいかす			
	町田市に対して愛着や親しみを感じている市民の割合	87.5%	93.5%	85.5%
	観光入込客数	574万人	650万人	615万人※6
政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる				
施策	4-1:生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する			
	生涯学習活動を行う機会を持つことができた市民の割合	30.8%	50.0%	24.7%
	4-2:スポーツへの参加機会を充実させる			
	スポーツ実施率	62.6%	70.0%	75.0%
	「する」「みる」「支える」に関わった市民の割合	92.8%	95.0%	94.7%
政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる				
施策	5-1:高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる			
	高齢者の地域活動参加率	前期高齢者 71.0% 後期高齢者 58.8%	前期高齢者 79.0% 後期高齢者 66.8%	前期高齢者 74.8% 後期高齢者 60.5%
	高齢者の主観的健康感	84.7%	89.0%	85.1%
	5-2:高齢者を地域で支える体制をつくる			
	在宅療養について希望し実現可能だと思う高齢者の割合	28.3%	33.0%	28.1%
	必要とする職員数を確保できていると考えている 介護保険事業所の割合	48.0%	60.0%	46.7%
政策6 つながりを力にするまちになる				
施策	6-1:つながり、支え合える基盤をつくる			
	地域とのつながりに満足している市民の割合	48.2%	60.0%	59.2%
	地域につながり、支え合いがあると思う市民の割合	32.0%	45.0%	30.2%
	6-2:みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる			
	市内の温室効果ガス排出量	1,284千 t-co2	998千 t-co2	1,115千※7 t-co2
	一人一日あたりのごみ排出量	775g	714g	694g

※5 経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2025年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

※6 「観光入込客数」は、公表が翌年の10月頃のため、前年（2024年）実績を記載しています。

※7 「市内の温室効果ガス排出量」は、公表が翌々年度の3月頃のため、直近（2023年度）実績を記載しています。

政策・施策		現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2025年度)
政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる				
施策	7-1:一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる			
	性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合	81.8%	85.0%	93.1%
	7-2:文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる			
	市内で文化芸術活動に触れる機会を持つことができた市民の割合	13.0%	30.0%	17.9%
	文化施設利用率の平均値	61.6%	70.0%	63.8%
政策8 思わず出歩きたくなるまちになる				
施策	8-1:気軽に出かけてつながれる環境をつくる			
	市内で滞在した時間(1日平均)	220分	240分	※8 —
	市内で活動した人数(1日平均)	37万人	40万人	※9 —
	8-2:ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする			
	自分が住む地域での生活に満足している市民の割合	77.0%	90.0%	83.9%
	8-3:健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる			
	みどりの環境に満足している市民の割合	79.8%	90.0%	87.1%
政策9 みんなが安心できる強いまちになる				
施策	9-1:ひと・まちを災害に強くする			
	自主防災活動実施率	91.6%	100%	91.4%
	災害などの非常時に対して備えている市民の割合	87.7%	100%	89.7%
	9-2:地域の安全を守る			
	治安が良いと感じる市民の割合	76.5%	80.0%	82.2%
	市内の交通事故(人身事故)件数【年単位集計】	855件	693件	879件
	9-3:市民の健康を守る			
	自殺死亡率(人口10万人あたり)	15.3	12.2以下	14.8
	健康診断を受診している市民の割合	76.5%	80.0%以上	83.1%

※8 ※9「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回のパーソントリップ調査によって調査されており、2025年度は調査未実施のため「—(ハイフン)」としています。

※上記一覧表の「市民の割合(〇〇している市民の割合)」の指標については、「2025年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2025年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

3 重点事業プランの取り組み結果

各重点事業で設定する、それぞれの指標の 2025 年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

(1) まちづくり基本目標との関係性

各重点事業を推進することで、まちづくり基本目標で設定した施策ごとの指標（P8～10 参照）の向上を図っています。

* 施策の指標と各重点事業の目標指標は、異なるものを設定しています。

(2) 取り組み結果一覧

<「取り組み結果」の考え方>

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の 2 段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して 100% 以上の実績値の場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の 100% 未満の実績値の場合）

* 「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100% を超える場合にも 100% を上限としています。

2025 年度の達成率・・・85%

* 「2025 年度達成率」は、全重点事業の達成率の平均から算出しています。

* 「政策」及び「施策」の達成率は、それぞれに紐づく重点事業の達成率の平均から算出しています。

* 2025 年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「－（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。

* 目標達成年度が 2025 年度までの事業のうち、目標が達成できていないものについては、2025 年度以前に設定している目標値を 2025 年度に繰り越して達成率を算出しています。

* 整備工事完了等の定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、

政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる【達成率:95%】

施策1-1 魅力ある子育て環境をつくる【達成率:97%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 地域における子育て支援の充実	92%	産後ケア利用申請数	○ 100%	459件	1,447件
		地域子育て相談センターの相談件数	△ 77%	18,600件	14,367件
		マイ保育園累計実施園数	○ 100%	73園	73園
2 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築	100%	配達食数	○ 100%	360食	381食
3 ひとり親家庭の支援	100%	高卒認定試験合格支援申請相談者数	○ 100%	20件	21件
		養育費確保支援申請者数	○ 100%	45件	147件

施策1-2 多様な保育サービスを提供する【達成率:94%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 送迎保育による多様な保育サービスの推進	100%	送迎保育ステーション利用定員数	○ 100%	8,000人	8,458人
2 病児・病後児保育の充実	88%	病児・病後児保育施設累計数	△ 88%	8施設	7施設
3 保育の質の向上推進	86%	保育サービス利用者・提供者の満足度	○ 100%	90.0%	100%
		保育士養成校等との連携回数	△ 73%	22回	16回
4 教育・保育施設の整備	100%	3歳児未満の保育サービスの提供率	○ 100%	47.0%	49%

政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる【達成率:81%】

施策2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する【達成率:81%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 子どもの参画の推進	100%	子どもが意見を発信する回数	○ 100%	6回	31回
2 子どもクラブの整備	100%	子どもクラブ累計施設数	○ 100%	8施設	8施設
3 学童保育クラブの整備	42%	学童保育クラブ整備累計施設数	△ 42%	12施設 (5施設/年)	5施設

施策2-2 学ぶ意欲を育てる【達成率:94 %】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 えいごのまちだの推進	100%	英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる小学校5・6年生の割合	○ 100%	73.0%	75.8%
		英語で書いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合うことが楽しいと感じる中学生の割合	○ 100%	58.0%	71.8%
2 ICT教育の充実	93%	授業の中でICTを活用することに不安があると感じている教員の割合	-	32.0%	-
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている小学生(第5・6学年)の割合	△ 86%	83.1%	71.5%
		学習ドリルソフトを使って、自分の苦手なところを復習しながら、学習を進めている中学生(第1学年)の割合	○ 100%	59.0%	80.6%
3 地域のスポーツ環境の充実	83%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	○ 100%	64.4%	81.8%
		30～49歳のスポーツ実施率(女性)	○ 100%	67.8%	71.5%
		スポーツに関するボランティアを行った割合	△ 50%	10.8%	5.4%
4 キャリア教育の推進	99%	将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(小6)	○ 100%	79.0%	81.4%
		将来の夢や目標をもっていると答えた児童・生徒の割合(中3)	△ 97%	69.0%	66.8%

施策2-3 教育環境を充実させる【達成率:67%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 新たな学校づくりの推進	50%	新たな学校づくり基本計画検討会累計設置数	△ 55%	11地区	6地区
		新たな学校づくり基本計画累計策定数	△ 45%	11件	5件
2 中学校給食センターの整備	100%	中学校全員給食の導入	○ 100%	2, 3カ所目提供開始	2, 3カ所目提供開始
3 小学校施設の整備	83%	建替え等の設計累計着手校(小学校)	△ 83%	6校	5校
4 中学校施設の整備	0%	建替え等の設計累計着手校(中学校)	△ 0%	1校	0校
5 特別支援学級の充実	100%	特別支援学級累計設置校数	○ 100%	40校	40校

施策2-4 地域の教育力を高める【達成率:100%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 学校と地域の協働	100%	地域学校協働活動項目件数	○ 100%	180件	588件

政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる【達成率:87%】

施策3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる【達成率:75%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 起業・創業の魅力を発信	100%	創業機運醸成に関するセミナー等の実施回数	○ 100%	12回	15回
		起業家カードの発行数	○ 100%	240件	267件
2 事業者の新分野・新技術への進出支援	48%	産業財産権取得に対する補助件数	△ 65%	40件	26件
		新商品・新サービス開発に対する補助件数	△ 30%	10件	3件
3 事業者の次代を担う人材を育成	86%	就職面接会、採用相談会等の参加者数	○ 100%	250人	448人
		労働関連セミナー参加者数	△ 72%	450人	324人
4 円滑な事業承継の推進	100%	事業承継累計完了件数	○ 100%	29件	100件
		事業承継ネットワーク個別相談受付件数	○ 100%	330件	431件
5 働きやすいまちづくりの推進	41%	シェアオフィス等に対する中心市街地活性化奨励金交付件数	△ 0%	1件	0件
		町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	△ 82%	820事業所	674事業所

政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる【達成率:87%】						
施策3-2 町田ならではの地域資源をいかす【達成率:99%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	シティプロモーションの推進	98%	町田市に対して愛着や親しみを感ずる市民の割合	△ 95%	89.9%	85.5%
			広告換算額	○ 100%	489百万円	1,697百万円
2	シティセールスの推進	100%	観光入込客数	○ 100%	595万人	615万人
3	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進	100%	四季彩の杜来園者数	○ 100%	123万人	129万人
4	香山緑地の整備	-	香山緑地の整備	-	-	-
5	身近に農のあるまちづくり	100%	子育て世帯のうち「まち☆ベジ」を購入したことがある人の割合	○ 100%	41%	77%
6	里山環境の活用と保全	100%	里山への来訪者数	○ 100%	31,000人	34,540人
政策4 いくつになっても自分の楽しみが持てるまちになる【達成率:87%】						
施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する【達成率:97%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	ワタシが主役の図書館づくりの推進	90%	市民協働運営の施設数	○ 100%	-	1カ所
			読書普及の取り組み紹介数	△ 79%	34件	27件
2	新たな図書館様式の推進	100%	図書館サービスを利用していない市民の割合	-	-	-
			予約資料受取場所累計施設数	○ 100%	6施設	7施設
3	新たな学びの支援	100%	学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	○ 100%	74%	90%
施策4-2 スポーツへの参加機会を充実させる【達成率:79%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域のスポーツ環境の充実(2-2③再掲)	83%	30～49歳のスポーツ実施率(男性)	○ 100%	64.4%	81.8%
			30～49歳のスポーツ実施率(女性)	○ 100%	67.8%	71.5%
			スポーツに関するボランティアを行った割合	△ 50%	10.8%	5.4%
2	野津田公園スポーツの森の整備	50%	テニスコートの整備	-	-	-
			パークセンターゾーンの整備	△ 50%	整備工事着手	実施設計完了
3	スポーツをする場の環境整備	84%	「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	△ 84%	39.5%	53.5%
4	忠生スポーツ公園の整備	-	池の辺地区の整備	-	-	-
			峠谷地区の整備	-	-	-
5	ホームタウンチーム等との連携の推進	100%	ホームタウンチームを知っている市民の割合	○ 100%	74.7%	77.9%
政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる【達成率:100%】						
施策5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる【達成率:100%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域介護予防活動支援	100%	「町トレ」自主グループ累計数	○ 100%	222団体	236団体
施策5-2 高齢者を地域で支える体制をつくる【達成率:100%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	認知症の人やその家族の居場所づくり	100%	まちづくりワークショップの累計参加者数	○ 100%	120人	482人
2	介護人材の確保・育成・定着	100%	介護人材バンクによる就労人数	○ 100%	45人	63人
政策6 つながりやを力にするまちになる【達成率:71%】						
施策6-1 つながり、支え合える基盤をつくる【達成率:97%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地域活動団体支援	100%	支援を行ったことで活動の活性化につながった累計団体数	○ 100%	205団体	250団体
			マッチング累計件数	○ 100%	58件	113件
2	ワタシが主役の図書館づくりの推進(4-1①再掲)	90%	市民協働運営の施設数	○ 100%	-	1カ所
			読書普及の取り組み紹介数	△ 79%	34件	27件
3	地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化	100%	新たな相談支援体制の導入累計地区数	○ 100%	10地区	10地区

政策6 つながり力をかするまちになる【達成率:71%】						
施策6-2 みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる【達成率:45%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	地球温暖化対策の推進	36%	家庭用燃料電池設置累計補助件数	△ 73%	750件	546件
			燃料電池自動車(FCV)導入累計補助件数	△ 0%	30件	0件
2	資源循環型施設の整備	0%	町田市バイオエネルギーセンターの整備	-	-	-
			相原地区資源ごみ処理施設の整備	△ 0%	100.0%	0%
3	プラスチックごみの減量の推進	100%	容器包装プラスチック排出削減量	○ 100%	1,000t	1,777t
政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる【達成率:88%】						
施策7-1 一人ひとりの個性を大切にす地城をつくる【達成率:100%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	性の多様性への理解の促進	100%	性の多様性に関する情報発信回数	○ 100%	3回	12回
2	障がい者差別解消推進	100%	差別解消に関連した講座等の実施回数	○ 100%	2回	31回
3	成年後見制度の利用支援	100%	市民後見人累計登録者数	○ 100%	100人	106人
施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる【達成率:50%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの整備	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△ 50%	整備工事完了	修正設計完了
			公園の第2期整備	△ 50%	整備工事完了	実施設計完了
政策8 思わず出歩きたくなるまちになる【達成率:83%】						
施策8-1 気軽に外かけてつながれる環境をつくる【達成率:95%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	小さな交通・地域で支える交通環境の整備	100%	多様な主体が連携した交通の取り組みや新たな交通の実用化・実証実験等の累計件数	○ 100%	14件	17件
			整備補助を受け設置されたホームドア累計総列数	-	-	-
2	大きな・速い交通の整備	100%	多摩都市モノレール町田方面延伸実現に向けた検討	○ 100%	検討	検討
3	自転車利用環境の整備	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○ 100%	6.2km	8.2km
4	都市計画道路の整備	100%	整備済延長(市施行分)	○ 100%	60.11km	60.11km
5	準幹線道路の整備	100%	整備済延長	○ 100%	-	85.11km
6	鶴川駅周辺のまちづくりの推進	100%	北口広場の整備	○ 100%	広場整備工事	広場整備工事
			南北自由通路の整備	○ 100%	整備工事	整備工事
			南口の土地区画整理	○ 100%	整備工事	整備工事
			南口のアクセス道路整備	○ 100%	整備工事	整備工事
7	相原駅周辺のまちづくりの推進	67%	東口アクセス路整備(相原駅)	○ 100%	整備工事	整備工事
			東口駅前広場周辺街区整備(相原駅)	△ 50%	整備(民間含)	整備手法検討
			東口駅前広場整備(相原駅)	△ 50%	整備工事	設計
施策8-2 ライフスタイルに合わせて自分らしくまちをええるようにする【達成率:76%】						
	重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	団地再生の推進	100%	団地再生に向けた取り組みを行っている累計団地数	○ 100%	11団地	11団地
2	忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進	100%	まちづくりの事業化	○ 100%	事業化	事業化
3	木曾山崎地区のまちづくりの推進	50%	まちづくりの事業化	△ 50%	事業化	構想改定検討実施
4	町田駅周辺地区のまちづくりの推進	50%	まちづくりの事業化	△ 50%	事業化	検討実施
5	中心市街地の賑わい空間の創出	80%	「町田駅周辺の中心市街地で2時間以上過ごす」市民の割合	△ 81%	57.7%	47.0%
			「2週間に1回以上の頻度で町田駅を訪れる」市民の割合	△ 78%	54%	42.3%

政策8 思わず歩きたくなるまちになる【達成率:83%】

施策8-3 健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる【達成率:75%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアムの整備(7-2①再掲)	50%	(仮称)国際工芸美術館の整備	△ 50%	整備工事完了	修正設計完了
		公園の第2期整備	△ 50%	整備工事完了	実施設計完了
2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進(3-2③再掲)	100%	四季彩の杜来園者数	○ 100%	123万人	129万人
3 野津田公園スポーツの森の整備(4-2②再掲)	50%	テニスコートの整備	-	-	-
		パークセンターゾーンの整備	△ 50%	整備工事着手	実施設計完了
4 香山緑地の整備(3-2④再掲)	-	香山緑地の整備	-	-	-
5 (仮称)蓮田公園の整備	100%	蓮田緑地の整備	○ 100%	-	整備工事完了
6 忠生スポーツ公園の整備(4-2④再掲)	-	池の辺地区の整備	-	-	-
		峠谷地区の整備	-	-	-
7 (仮称)大戸広場の整備	50%	(仮称)大戸広場の整備	△ 50%	整備工事完了	用地取得・折衝
8 都市農地の保全活用の取組	100%	生産緑地の肥培改善通知文書の発送数	○ 100%	5通	4通
		市内の農業体験に参加した市民の割合	○ 100%	0.8%	0.8%

政策9 みんなが安心できる強いまちになる【達成率:83%】

施策9-1 ひと・まちを災害に強くする【達成率:86%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 自主防災リーダーの育成	96%	日頃から避難場所について確認している市民の割合	△ 91%	58.0%	53%
		「とりくむ」講座実施累計地区数	○ 100%	8地区	8地区
2 避難行動要支援者の避難支援体制整備	82%	個別避難計画作成累計人数	△ 82%	350人	287人
3 地震対策(雨水管の耐震化)	-	耐震化率	-	0%	-
4 地震対策(下水道処理施設の耐震化)	100%	成瀬クリーンセンターの耐震化率	○ 100%	81.5%	81.5%
5 浸水対策の推進	55%	雨水管整備対象箇所の浸水対策累計数	△ 55%	11カ所	6カ所
6 無電柱化の推進	100%	整備済延長(累計)	○ 100%	4.98km	4.98km
7 住宅の耐震化の促進	100%	木造住宅の耐震化率	○ 100%	88.4%	88.4%
8 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化の促進	70%	要安全確認計画記載建築物の耐震化率	△ 70%	100.0%	70.4%

施策9-2 地域の安全を守る【達成率:86%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 協働パトロールの充実	79%	協働パトロール回数	△ 79%	48回	38回
2 交通安全ミーティングの推進	100%	交通安全ミーティング実施回数	○ 100%	6回	6回
3 踏切道の改良	50%	鶴川1号踏切の拡幅完了	-	-	-
		鶴川5号踏切の拡幅完了	△ 50%	工事着手	関係機関協議
4 道路安全設備の緊急更新	100%	町田市内幹線・準幹線道路の区画線補修工事	○ 100%	75%	75%
5 自転車利用環境の整備(8-1③再掲)	100%	自転車通行空間の累計整備延長	○ 100%	6.2km	8.2km

施策9-3 市民の健康を守る【達成率:50%】

重点事業	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 自殺対策の推進	50%	自殺死亡率(人口10万人あたり)	△ 50%	12.7	14.8

事業の達成状況と 主な成果

<重点事業プランのページ構成>

政策の中から抜粋した
重点事業の取り組み成
果について記載

政策を構成する施策
について記載

出産前・出産後 (0～5歳) 子育て (6～14歳) 高齢者 (15～64歳) 若年層 (15～24歳) 高齢者 (65歳～)

1 赤ちゃんに選ばれるまちになる

2025年度の主な成果

-1 重点事業① 地域における子育て支援の充実

出産後に助産師のケアを受けられる「日帰り型・宿泊型（医療機関・助産院での休息・授乳・育児指導）」や「訪問型（自宅での相談やアドバイス）」の産後ケア事業について、契約医療機関を17ヵ所から19ヵ所に、訪問員を18名から20名に増やして体制を強化しました。その結果、利用申請数は目標値（459件）を大きく上回る1,447件となりました。

-2 重点事業③ 保育の質の向上推進

各業の人事労務に関する課題解決を図るため、新たに社会保険労務士による巡回相談支援を開始しました。また、保育コンシェルジュが市内の教育・保育施設を計171園（延べ246回）訪問し、保育施設等の課題などに対して助言等を行うことなどで、保育サービスの利用者・提供者の満足度100%を達成しました。

-2 重点事業④ 教育・保育施設の整備

2026年4月の新規開園に向け、南地域での認可保育所の整備に取り組みました。併せて既存保育施設の定員の見直しなども行った結果、0～2歳児人口は増加しましたが保育サービス提供率（※）は目標値の47%を上回る49%となりました。

※3歳児未満の保育所等の定員/0～2歳児人口

魅力ある子育て環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

- 子育て世帯の誰もが必要な情報を把握し、支援が必要ときに支援を受け、相談が必要ときに相談を受けられる環境になっています。
- 子ども・子育て支援が切れ目なく行われている環境になっています。

暮らしやすい家の実現度を図る数値

Q成から14歳の転入転出割合（10年平均）

現状値 54.7% (2010年度) → 2025年度 38.7% → 目標値 60.0% (2023年度)

指標の経過

Q成から14歳の転入転出割合（10年平均）

40.0%
60.0%
80.0%

2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度

実勢値 目標値

<参考>

0～14歳の転入転出割合（10年平均・率）

年度	2023年	2024年	2025年	10年合計	10年平均
転入人口	856人	922人	1171人	8007人	800.7人
転出人口	2023人	2185人	2638人	20091人	2009.1人

転入人口転出割合（率）

年度	2023年	2024年	2025年	10年合計	10年平均
転入人口	856人	922人	1171人	8007人	800.7人
転出人口	2023人	2185人	2638人	20091人	2009.1人

施策を実現するための重点事業

- 地域における子育て支援の充実
- 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築
- ひとり親家庭の支援

まちづくり基本目標で設
定した施策ごとの指標

重点事業を推進するこ
とでまちづくり基本目
標で設定した指標の向
上を図ります

施策ごとの重点事業を記載

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高齢期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

1

赤ちゃんに選ばれる まちになる

2025 年度の主な成果

1-1 重点事業① 地域における子育て支援の充実



出産後に助産師のケアを受けられる「日帰り型・宿泊型（医療機関・助産院での休息、授乳・育児指導）」や「訪問型（自宅での相談やアドバイス）」の産後ケア事業について、契約医療機関を 17 ヶ所から 19 ヶ所に、訪問員を 18 名から 20 名に増やして体制を強化しました。その結果、利用申請数は目標値（459 件）を大きく上回る 1,447 件となりました。

1-2 重点事業③ 保育の質の向上推進

各園の人事労務に関する課題解決を図るため、新たに社会保険労務士による巡回相談支援を開始しました。また、保育コンシェルジュが市内の教育・保育施設を計 171 園（延べ 246 回）訪問し、保育内容や施設の課題などに対して助言等を行うことなどで、保育サービスの利用者・提供者の満足度 100%を達成しました。



1-2 重点事業④ 教育・保育施設の整備



2026 年 4 月の新規開園に向け、南地域での認可保育所の整備に取り組みました。併せて既存保育施設の定員の見直しなども行った結果、0～2 歳児人口は増加しましたが保育サービス提供率（※）は目標値の 47%を上回る 49%となりました。

※3 歳児未満の保育所等の定員／0～2 歳児人口

施策 1-1 魅力ある子育て環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

- 子育て世帯の誰もが必要な情報を把握し、支援が必要ときに支援を受け、相談が必要ときに相談を受けられる環境になっています。
- 子ども・子育て支援が切れ目なく行われている環境になっています。

なりたい姿の実現度を測る指標

0歳から14歳の転入超過割合
(10年平均)

現状値

54.7%
(2020年度)

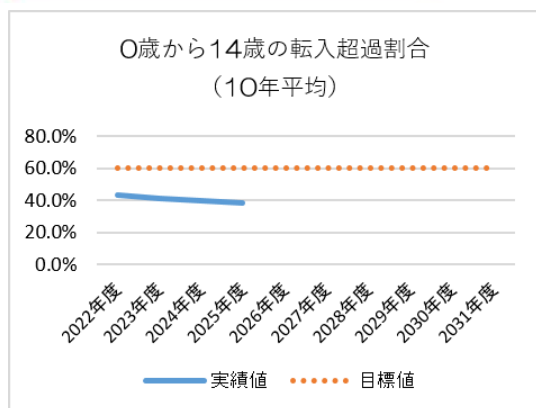
2025 年度

38.7%

目標値

60.0%
(2031年度)

指標の経過



<参考>

■0～14歳の転入超過数(直近3ヵ年参考／10年合計・平均)

2023年	2024年	2025年	10年合計	10年平均
856人	922人	1171人	8007人	800.7人

■転入超過数総数(直近3ヵ年参考／10年合計・平均)

2023年	2024年	2025年	10年合計	10年平均
2023人	2385人	2938人	20691人	2069.1人

施策を実現するための重点事業

- 地域における子育て支援の充実
- 「食」を通じた地域ネットワーク支援の構築
- ひとり親家庭の支援

「0歳～14歳の年少人口転入超過数」が初の全国1位に！

2025年の年少人口の転入超過数（転入者数から転出者数を差し引いた数）が、全国1位となりました。政令指定都市を除いて1位になったことは過去にもありましたが、政令指定都市を含めて全国1位となったのは初めてです。

また、年少人口のうち、0歳から4歳の転入超過数も全国1位となり、これは2023年から3年連続の快挙です。

この結果は、都会と自然のバランスがちょうどいいまちであることに加え、これまで「子どもにやさしいまちづくり」に重点的に取り組んできたことが、「町田なら安心して子どもを育てられる」と思ってもらえることにつながったのではないかと考えています。

全国1位という結果はゴールではありません。大切なのは、子どもたちが健やかに育ち、将来「このまちで育ってよかった」と思ってもらえる未来をつくることです。

これからも、子どもたちの笑顔あふれるまちづくりを進めてまいります。

（参考）2025年転入超過数全国市町村ランキング

順位	年少人口計 (0歳～14歳)	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳
1位	町田市	町田市	札幌市	札幌市
2位	さいたま市	箕面市	さいたま市	福岡市
3位	札幌市	さいたま市	町田市	町田市
4位	八王子市	八王子市	八王子市	鹿児島市
5位	箕面市	伊丹市	つくば市	八王子市



まちだコドマチ条例PRキャラクター
カワセミレンジャー

施策 1-2 多様な保育サービスを提供する

施策実現によってなりたい姿

- 子育てと仕事の両立ができ、ワークライフバランス が保てることで、充実した子育てや仕事を実現しています。
- 保育を必要としているときに必要な保育サービスを利用できる環境を実現しています。

なりたい姿の実現度を測る指標

認可保育所等待機児童数

現状値

76人
(2021年度)

2025年度

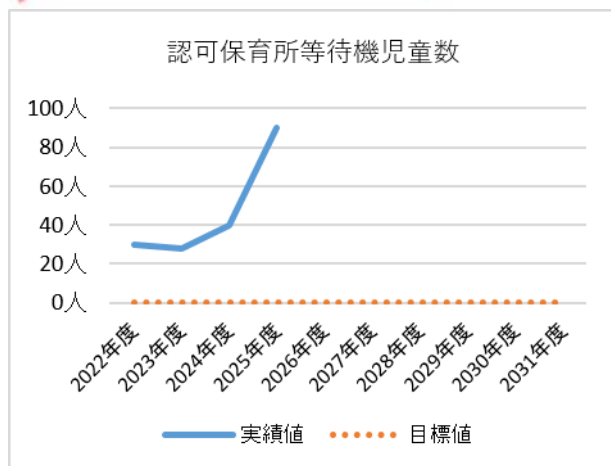
90人
※

目標値

0人
(2031年度)

※認可保育所等待機児童数の 2025 年度実績値は、2025 年度の取り組み結果が 2026 年 4 月公表の数値に反映されることから、年度をずらして記載しています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 送迎保育による多様な保育サービスの推進
- 病児・病後児保育の充実
- 保育の質の向上推進
- 教育・保育施設の整備

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

2

未来を生きる力を 育み合うまちになる



2025 年度の主な成果

2-1 重点事業② 子どもクラブの整備

地域の子どもの居場所の充実に向け、2026 年 3 月に市内で 8 館目の子どもクラブである成瀬子どもクラブ「なるるん」がオープンしました。施設には子どもたちのアイデアを反映し、バスケットボールやバドミントンが出来る高い天井の遊戯室や、ボルダリング設備、ダンスの練習ができる大きな鏡などを設置しました。



© 2026 Peanuts

2-2 重点事業① えいごのまちだの推進

小学校放課後英語教室や、南町田グランベリーパーク内にあるスヌーピーミュージアムや Tokyo Global Gateway への校外学習など、子どもたちが英語に慣れ親しみ、触れることができる、体験を重視した英語教育を推進しました。その結果、英語で自分の考えや気持ちを伝えあうことが楽しい児童・生徒の割合は、小学 5・6 年生が 75.8%、中学生が 71.8%と、目標値（小学 5・6 年生：73%、中学生 58%）を上回りました。

2-3 重点事業② 中学校給食センターの整備

2025 年 4 月に町田忠生小山エリアの給食センターから中学校 8 校へ、10 月には南エリアの給食センターから中学校 5 校へ、給食の提供を開始しました。既に開始していた堺エリア、鶴川エリアを含め、市立中学校の全員給食が実現しました。

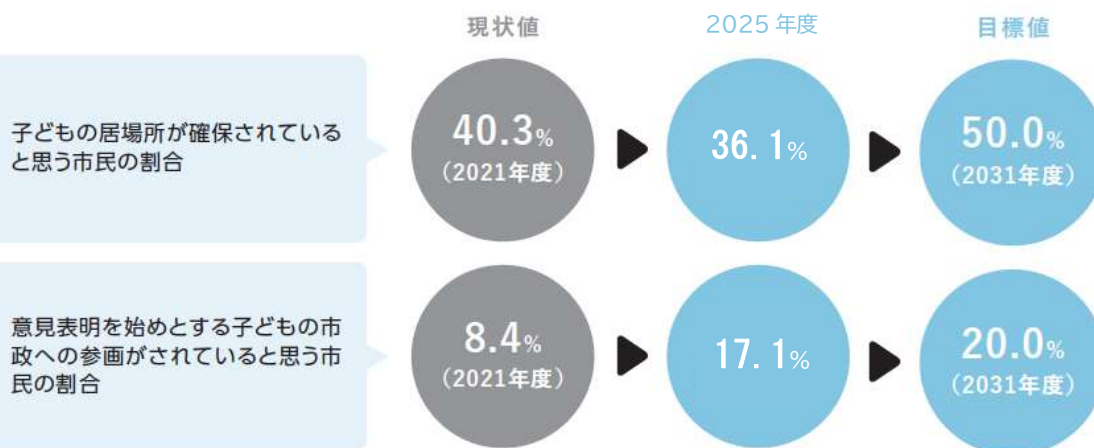


施策 2-1 子どもが自分らしく育つ場を提供する

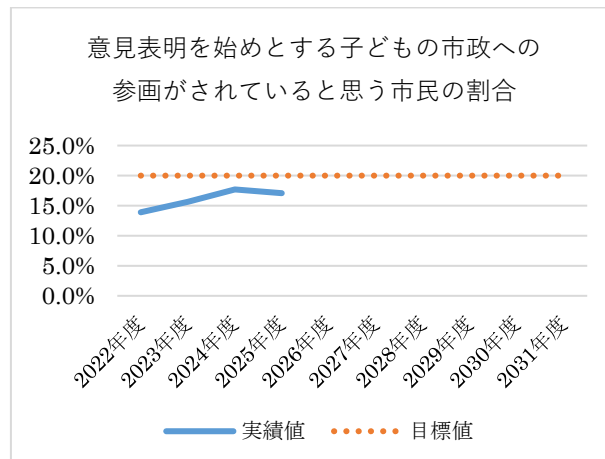
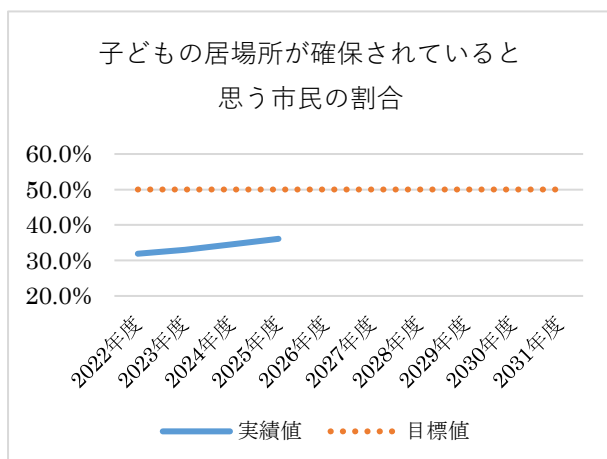
施策実現によってなりたい姿

- 行政のあらゆる活動に子どもが意見でき、大人と共にまちづくりに取り組んでいます。
- 家庭の事情に関係なく、子どもが「活動の場」「生活の場」「豊かに過ごせる場」を選択できるまちになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 子どもの参画の推進
- 学童保育クラブの整備

コラム

- 子どもクラブの整備

まちだ若者大作戦 3 周年イベント 「まちだ若者大大大作戦～WAKUWAKU～」 W (若者) A (集まる) K (築く) U (生まれる)



2023 年度から 2025 年度の 3 か年で取り組んできた「まちだ若者大作戦」では、若者の「やりたいこと」を 30 件実現しました。子ども・若者と行政の協働事業や、地域の大人が若者を後押しするといった活動が生まれており、若者の参画促進やまちづくりにつながる成果がありました。

この成果を、これから参加する新たな世代へバトンをつなぐため、若者による「まちだ若者大作戦イベント実行委員会」を組織し、2026 年 3 月に「まちだ若者大大大作戦～WAKUWAKU～」を実施しました。

(1) 第 1 弾 Focus「まちだ若者大作戦」活動紹介のパネル展示

「やりたいこと」を実現した若者たちが作成した成果報告パネルを、ミーナ町田に展示しました。

日時：2026 年 3 月 1 日から 6 月 28 日まで

場所：ミーナ町田 3F (ユニクロ横)



(2) 第 2 弾 Burst「まちだ若者大作戦」PR イベント

中心市街地で若者の「やりたいこと (大作戦)」を実行し、駅前を行き交う市民の「まちだ若者大作戦」への興味・関心を喚起しました。

日時：2026 年 3 月 15 日 (日)

場所：町田ターミナルプラザ「市民広場」

参加者数：来場者約 500 人、子ども・若者実行委員約 120 名



e スポーツ体験会、大シール交換会、子ども委員会合同企画「巨大ジェンガ」 など

(3) 第 3 弾 Beginning「まちだ若者大作戦」PR イベント

「まちだ若者大作戦」のプランの一つである野外音楽フェス「MUSICA」との併催により、大人と子ども・若者がつながる交流イベントを実施しました。これまで「やりたいこと」を実現してきた若者たちと、後押ししてきた「賛同課」が共同でブースを出展。また、市と協働している若者グループも、担当課とともに出店しました。

日時：2026 年 3 月 29 日 (日)

場所：町田薬師公園四季彩の杜西園

参加者数：来場者約 1,213 人、

子ども・若者実行委員、出店者約 140 名

町田市産のゆず塩ポップコーン販売、心肺蘇生体験、まちだユースシアター、図書館プランナーPR、レジン工作、療育の世界をのぞいてみよう など

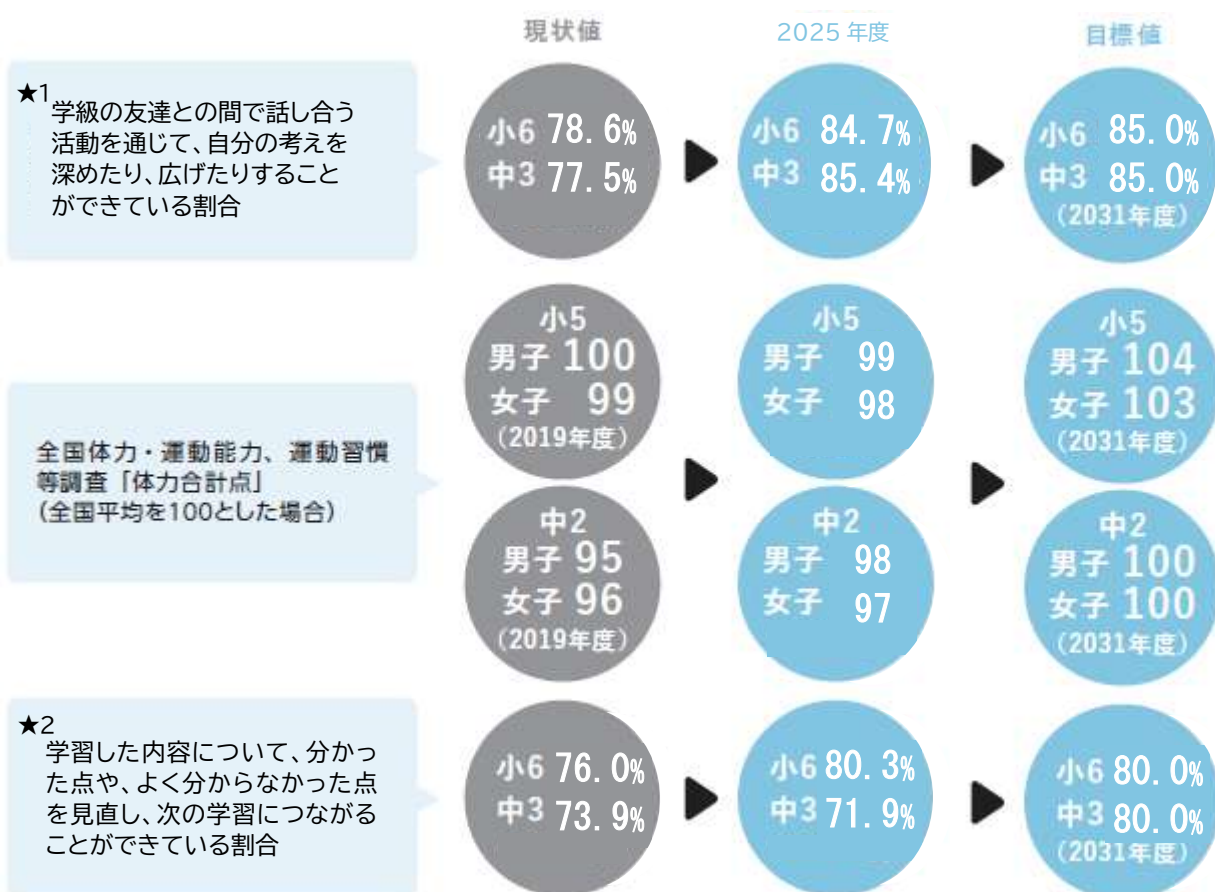


施策 2-2 学ぶ意欲を 育てる

施策実現によってなりたい姿

- 次代を担う子どもたちが、グローバル化やICTなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの社会において、夢や志を持ち、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることができるようになっていきます。

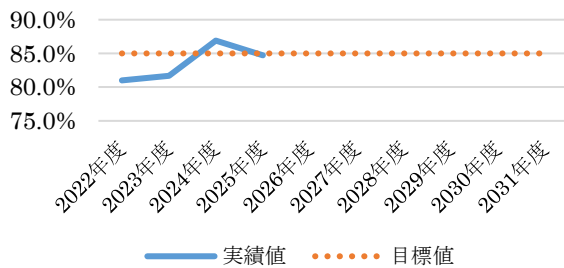
なりたい姿の実現度を測る指標



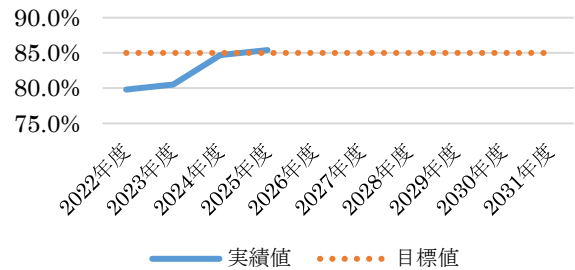
* ビジョン策定時、★1については「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の割合」、★2については「自分の考えや意見を発表することが得意な児童・生徒の割合」を目標指標として設定していましたが、引用元となる全国学力・学習状況調査の調査項目から削除されたため、代替指標を立てています。

指標の経過

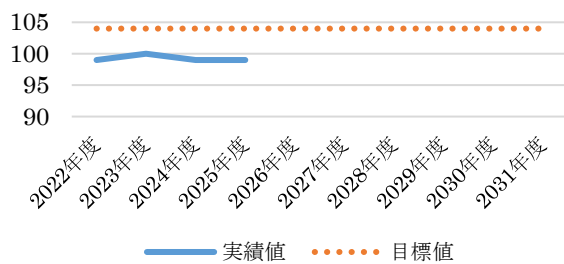
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（小6）



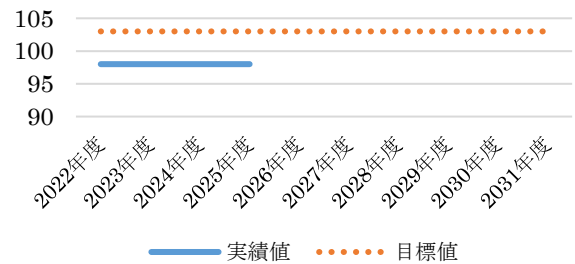
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる割合（中3）



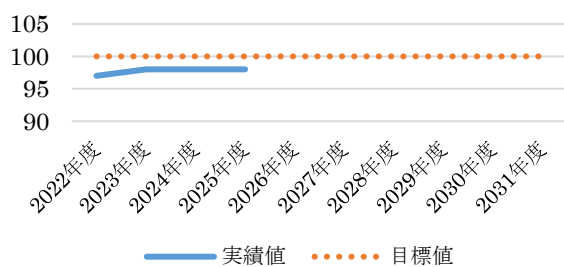
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
小5男子「体力合計点」
(全国平均を100とした場合)



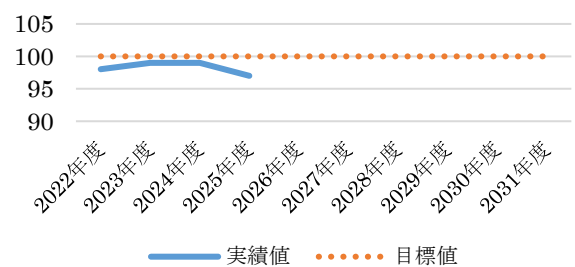
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
小5女子「体力合計点」
(全国平均を100とした場合)



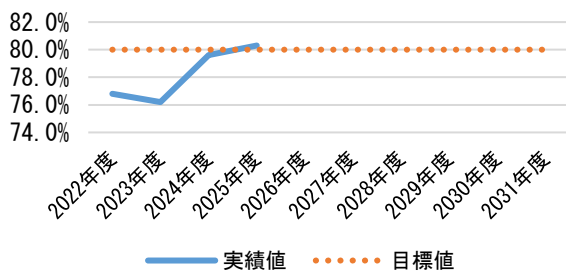
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
中2男子「体力合計点」
(全国平均を100とした場合)



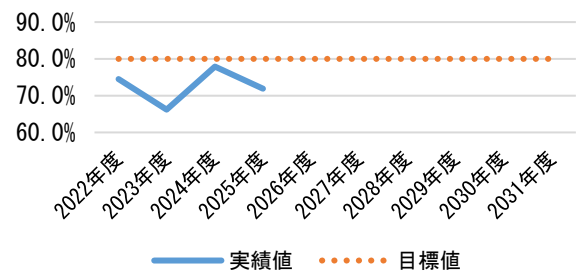
全国体力・運動能力、運動習慣等調査
中2女子「体力合計点」
(全国平均を100とした場合)



学習した内容について、分かった点
や、よく分からなかった点を見直し、
次の学習につなげることができる
割合（小6）



学習した内容について、分かった点
や、よく分からなかった点を見直し、
次の学習につなげることができる
割合（中3）



施策を実現するための重点事業

- えいごのまちだの推進
- ICT教育の充実
- 地域のスポーツ環境の充実
- キャリア教育の推進

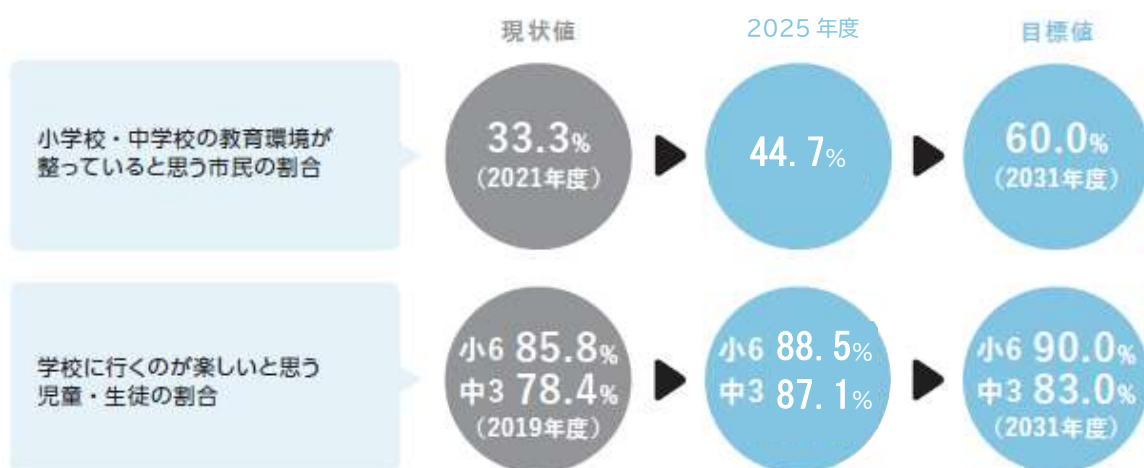
施策 2-3

教育環境を 充実させる

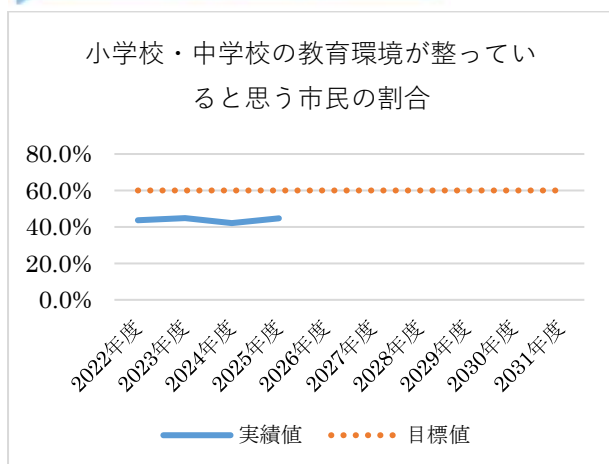
施策実現によってなりたい姿

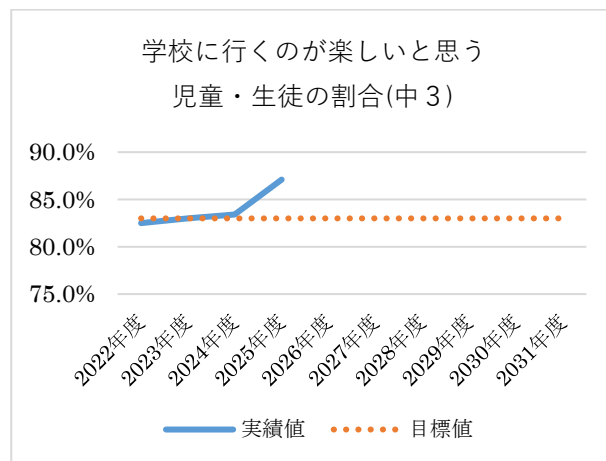
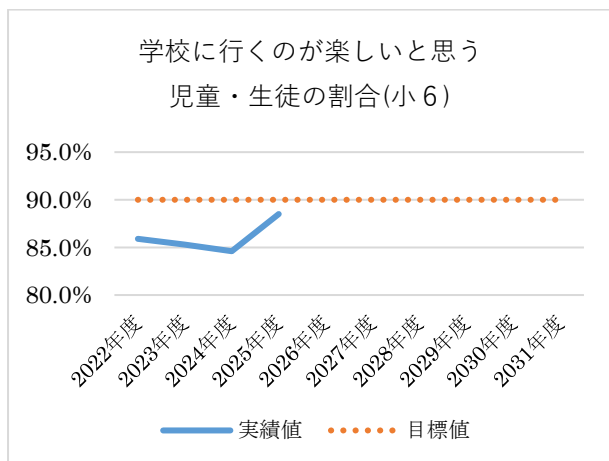
- 質の高い教育環境の下で、子どもたち一人ひとりの能力・可能性が育まれています。
- 子どもがいつでもどこでも誰でもそれぞれに適した方法・場所で教育を受けることができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過





施策を実現するための重点事業

- 新たな学校づくりの推進
- 小学校施設の整備
- 特別支援学級の充実

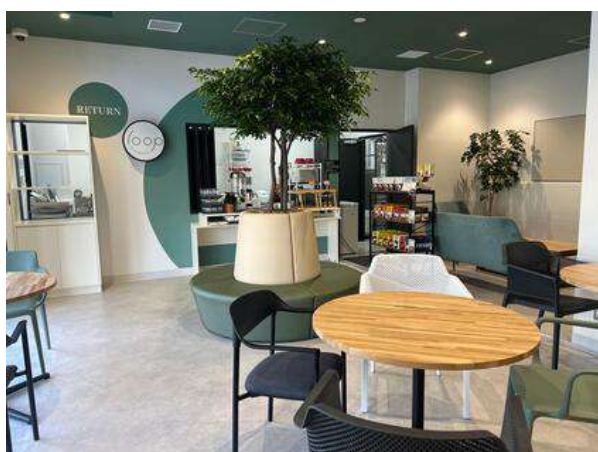
- 中学校給食センターの整備
- 中学校施設の整備

コラム

2025 年度に全ての市立中学校で全員給食が始まりました！

町田市では、2024 年 9 月にゆくのき学園から堺中学校に配送する形で、堺エリアで全員給食を開始しました。

2025 年 1 月には鶴川エリア中学校給食センター、4 月には町田忠生小山エリア中学校給食センター、10 月には南エリア中学校給食センターが開所し、全ての市立中学校で、生徒全員への温かい給食の提供が始まりました。



▲▶ 南エリア中学校給食センター

中学校給食センターには調理施設だけではなく、消防団詰所や地域の方にもご利用いただける多目的室、カフェ、プレイルーム、子ども広場等を併設しています。（センターによって併設施設は異なります。）

忠生小山エリアと南エリアの給食センターのカフェでは、毎日食数限定で給食ランチを提供しています。（予約可）



施策 2-4

地域の教育力を 高める

施策実現によってなりたい姿

- 地域人材の経験やスキルをいかし、子どもたちが未来を生きる力を育むとともに地域人材の活躍の場を作り出す双方向の「連携・協働」型の活動が充実しています。

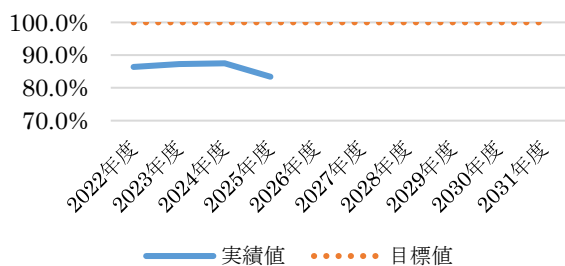
なりたい姿の実現度を測る指標

学校は地域と一体となって子どもを育む場であると感じる保護者の割合

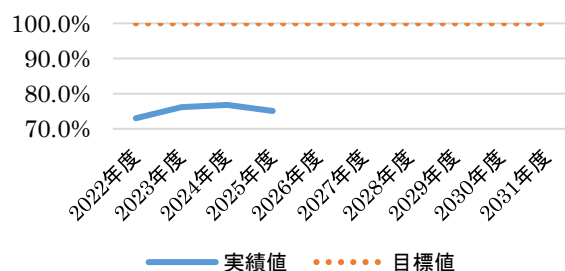


指標の経過

学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合
(小学校)



学校は地域と一体となって子どもたちを育む場であると感じる保護者の割合
(中学校)



施策を実現するための重点事業

- 学校と地域の協働

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

3

自分らしい場所・時間を持てるまちになる



2025 年度の主な成果

3-1 重点事業① 起業・創業の魅力を発信



「町田創業プロジェクト」の枠組を通じ、町田商工会議所や金融機関等と連携した支援を実施した結果、起業・創業の支援を受ける際に発行する起業家カード発行数が 267 件と目標の 240 件を上回り、市内での起業・創業希望者の裾野が広がりました。また、子どもたちの起業・創業意識の醸成を目指す「まちだキッズアントレプレナー」等、各種イベントを 15 回（目標：12 回）開催しました。

3-2 重点事業② シティセールスの推進

町田市をモデルとしたアニメ「うたごえはミルフィーユ」とのコラボによる音声 AR サービスを活用した市内回遊イベントやアニメ声優によるトークイベント、ホームタウンチームとも連携したウォークイベントなどを開催し、多くの参加者を集めました。これらの取組の結果、観光入込客数は目標の 595 万人を上回る 615 万人となりました。



©うたごえはミルフィーユ製作委員会



3-2 重点事業⑥ 里山環境の活用と保全

学校法人玉川学園と 2025 年 8 月に事業連携協定を締結し、木と里山資源の活用に関するフォーラムや、現場実習などを行いました。また、「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会に参加する東京都区部の住民向けに、竹林整備や竹灯籠づくりなどの現場体験事業を実施しました。これらにより、里山への来訪者数は 34,540 人と目標（31,000 人）を上回りました。

施策 3-1 ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

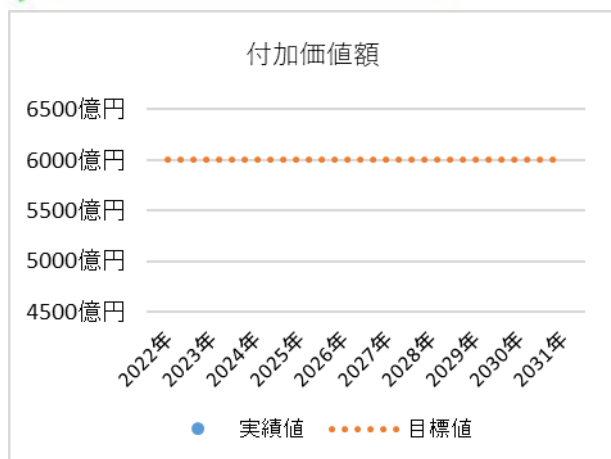
- 多様な働き方が実現できるまちとして、多くの人にも選ばれるとともに、ビジネスに適した環境として、多くの事業者からも選ばれるまちになっています。
- 立ち上げる・広げる・つなぐチャレンジの支援を通じて、起業・創業がしやすい風土が根付き、事業から新しい価値が生み出されるとともに、優れた技術・ノウハウが次世代に受け継がれるまちになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されており、2025年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 起業・創業の魅力を発信
- 事業者の次代を担う人材を育成
- 働きやすいまちづくりの推進
- 事業者の新分野・新技術への進出支援
- 円滑な事業承継の推進

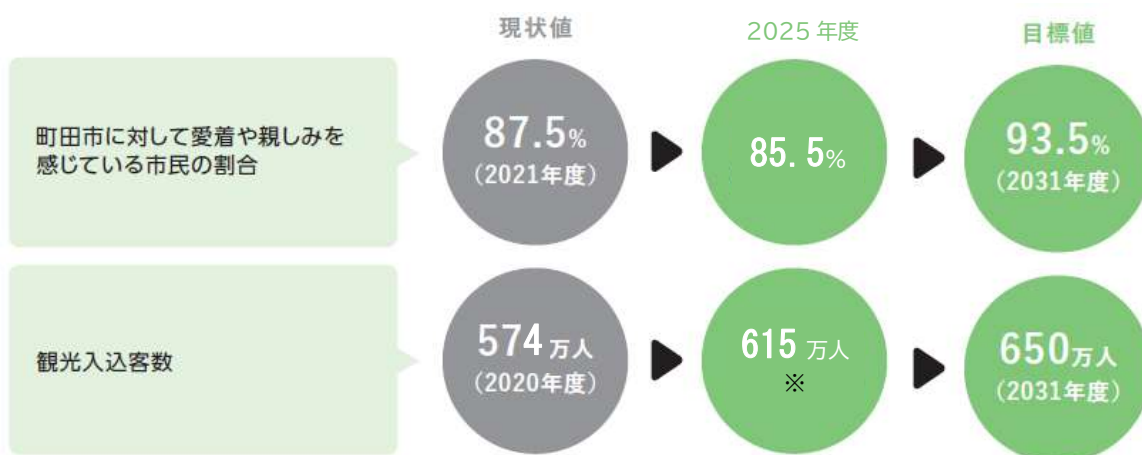
施策 3-2

町田ならではの 地域資源をいかす

施策実現によってなりたい姿

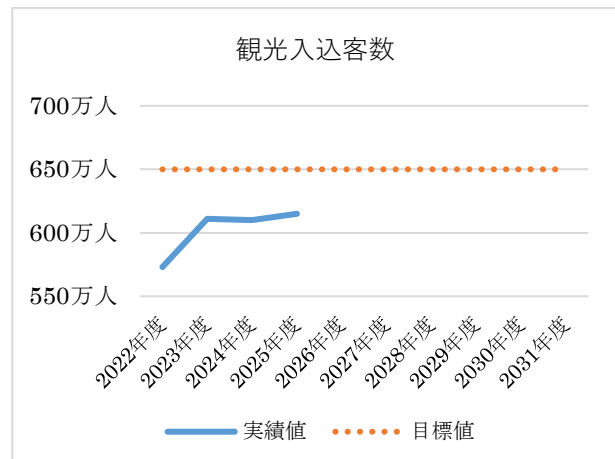
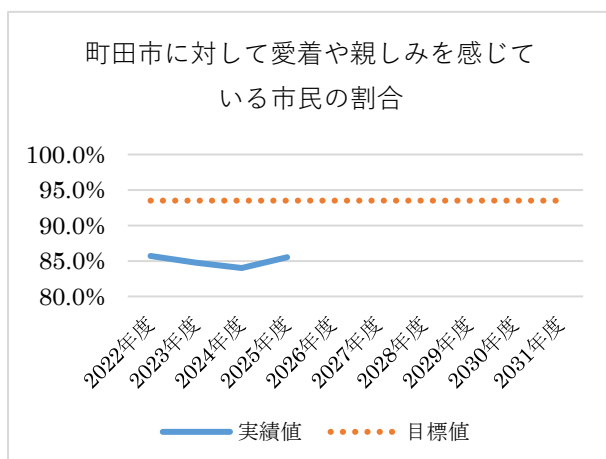
- 子育て・教育や経済・観光、スポーツ・生涯学習、地域活動などのまちの魅力が、「町田ならではの地域資源」として認識されています。
- メディアや口コミ、WEB（SNS）などを通して発信されることにより、市内外の人との交流が生まれ、町田に対する市民の誇り・愛着や市外からの関心・憧れが育まれています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「観光入込客数」は、公表が翌年の10月頃のため、前年（2024年）実績を記載しています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- シティプロモーションの推進 コラム
- シティセールスの推進
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進
- 香山緑地の整備
- 身近に農のあるまちづくり コラム
- 里山環境の活用と保全

まちだを語ろうワークショップに 113 名が参加！
～700 の魅力から紡ぎ出された「まちだ暮らしの価値」～



2025 年 12 月～2026 年 2 月にかけて、まちの魅力や暮らしの価値を市民とともに再確認するため、全 4 回、計 10 時間に及ぶ市民参加型ワークショップを開催しました。延べ 113 名が参加し、一人ひとりの「暮らしの実感」や「体験」から集まった 700 以上の魅力から、「まちの本質的な魅力」を深掘りしました。



ワークショップを通じて見えてきたのは、まちだに溢れる多様な活力です。参加者からは、まちだには豊かな自然や交通利便性だけでなく、「関わろうとする人を温かく受け入れる空気感」や「好きなことを通じて地域とつながり、生きがいを見つけられる土壌」があることが語られました。こうした緩やかなつながりや、新しい挑戦を応援し合う文化が、まちだならではの「いいことふくらむ」エネルギーとなっていることがわかりました。

まちだの魅力は、単に「何があるか」以上に、「人との関わりを通じて、自分らしい暮らしへつなげていけること」にあります。自らまちや人に関わることで、まちだの魅力が広がっていきます。今回共有された魅力や暮らしの価値は、これからの市の魅力を発信していくための大切な土台となっていきます。



町田産農産物「まち☆ベジ」をもっと知って味わって ～地産地消の取組を進めています～



町田市は都内では農業が盛んな地域で、島しょ部を除くと都内第2位の農業産出額を誇ります（「令和6年度東京都の地域・区市町村別農業データブック」出典）。市では、地産地消の推進と農業振興を目的に、市内在住あるいは市内に農業経営の拠点がある農業者が、生産記録等の管理のもとで生産している農産物（野菜・畜産・園芸等）のことを“まち☆ベジ”と呼んでいます。そして、さまざまな主体と連携し、“まち☆ベジ”を市民の皆さんにもっと知っていただき、もっと食べていただく取組を進めています。

○成瀬高校「町田活性化プロジェクト」が「高校生 MIRAI 万博」に出場

東京都立成瀬高等学校「町田活性化プロジェクト」は、“まち☆ベジ”のおいしさや鮮度についての基礎研究のほか、町田市農業祭や JA 町田市のイベントにおいて町田産ポップコーンを製造・販売するなどの認知度向上の取組を通して、地域活性化のための活動を行っています。その意欲的な取組や町田への郷土愛が高く評価され、2025 年の日本国際博覧会（通称：大阪・関西万博）で行われた「高校生 MIRAI 万博」への出場権を獲得しました。当日は会場に集まった方々やウェブ配信を通じて、世界に“まち☆ベジ”を PR しました。

○アグリハウスみなみで「キッズフェスタ」を実施

町田産農産物の消費量を増やすため、子育て世帯に市内の直売所を知っていただき、継続的に訪れていただく取組を行っています。2025 年度は JA 町田市が運営する直売所「アグリハウスみなみ」での収穫感謝市の開催にあわせて、子どもセンターばあんや町田活性化プロジェクト等と連携し、「キッズフェスタ」を実施しました。こども縁日、飲食販売、スタンプラリーといった子ども向けの企画を行い、数多くの皆さまに“まち☆ベジ”の魅力を知っていただきました。今後もイベント等を通じて、家族でアグリハウスに訪れていただく機会を増やしていきます！



胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政 策 ／

4

いくつになっても自分の
楽しみが見つかるまちになる



2025 年度の主な成果

4-1 重点事業① ワタシが主役の図書館づくりの推進

2025 年 5 月に、つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」がオープンし、地域の協力・連携のもと社団法人による運営が開始されました。地域の方が主体となって工作イベントや「おはなしに出会う会」などを行い、新たな地域の交流の場が生まれています。



4-1 重点事業③ 新たな学びの支援

市民大学の公開講座や市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」など、社会的課題を学ぶ講座を 35 回開催しました。また、デジタルデバイド（情報格差）の解消のため、スマートフォンの基礎操作をマンツーマンで教える「なんでもスマホ相談室」を 35 回（出張版を含む）開催し、329 名の方が参加しました。その結果、学習成果を今後いかせると答えた人の割合が目標値（74%）を上回る 90%となりました。

4-2 重点事業⑤ ホームタウンチーム等との連携の推進

FC 町田ゼルビアの天皇杯優勝や、ASV ペスカドーラ町田の全日本フットサル選手権大会優勝などの機会を捉え、市庁舎イベントスタジオでの展示を行いました。また、町田駅前デッキの横断幕やタペストリーのリニューアル、壁面装飾などさまざまな形でホームタウンチームを応援するための機運醸成を図りました。これらの取組の効果もあり、ホームタウンチームの認知度が目標値の 74.7%を上回る 77.9%となりました



施策 4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

施策実現によってなりたい姿

- いつでもどこでも学習しやすい環境が整い、学びの機会を逃さないようになっています。
- 学びの成果を発信しやすく、受信しやすいようになっています。
- 学習資源のデジタル化が進むことにより、学びにアクセスしやすい環境になっています。

なりたい姿の実現度を測る指標

生涯学習活動を行う機会を持つ
ことができた市民の割合

現状値

30.8%
(2021年度)

2025 年度

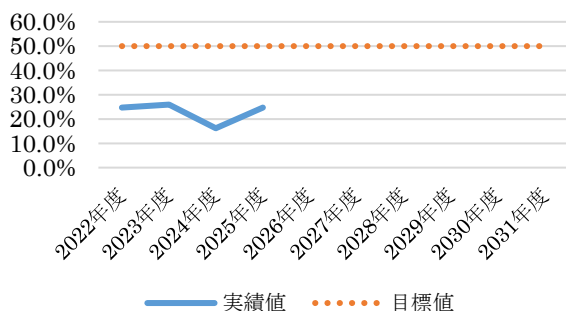
24.7%

目標値

50.0%
(2031年度)

指標の経過

生涯学習活動を行う機会を持つことが
できた市民の割合



施策を実現するための重点事業

- ワタシが主役の図書館づくりの推進
- 新たな図書館様式の推進
- 新たな学びの支援

コラム



本がある
キミがいる
つながるつるぼん

『 変わりゆく街の中で
残したい本と居場所がある
本と街と人の新しいつながり方 』

2025年5月、鶴川図書館閉館後の建物を活用した図書コミュニティ施設「つるぼん」がオープンしました。

「つるぼん」は、図書提供機能とコミュニティ機能を併せ持ち、本をきっかけとして地域の誰もが訪れ、滞在し、交流することができる居心地の良い施設・空間となること目指した、図書館とは異なる施設です。読んだ本の感想を交わし合う、宿題をしながら話し合うなど、コミュニティ活動の場としてご利用いただいています。

オープン以降、月平均9,000人以上と多くの方にご利用いただいているほか、定期的な読み聞かせ「おはなしに出会う会」や野草を使った「たたき染めワークショップ」など貴重な体験ができる様々なイベントを開催しており、2025年度は延べ1,000人以上の方に参加いただきました。

地域の方からは、「つるぼんに来ると子どもと遊べるのがうれしい」、「お散歩のついでに寄ることができる場所」などのお声をいただいております、みんなの居場所となっています。

交流・出会い・学び・発見・実験の場所として、みんなとつながることができる「つるぼん」にぜひお越しください。

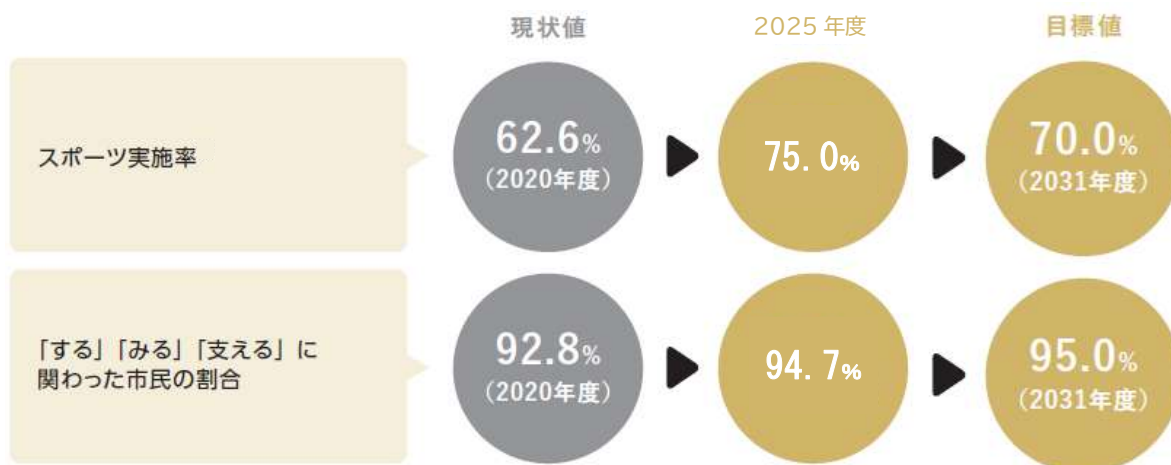


施策 4-2 スポーツへの参加機会を充実させる

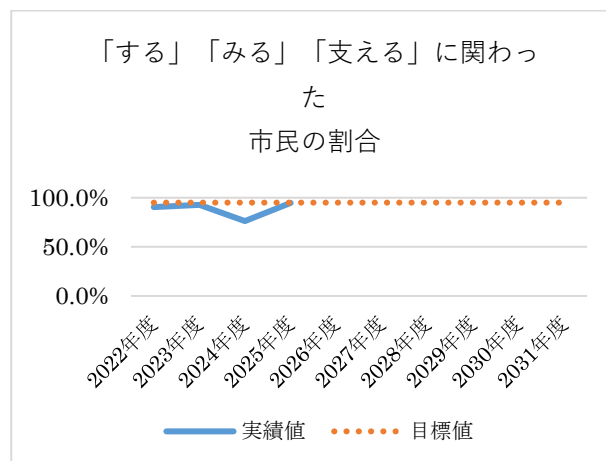
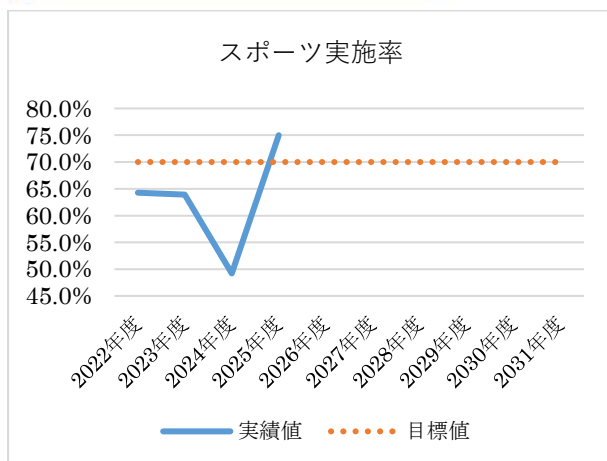
施策実現によってなりたい姿

- 「スポーツで人とまちが一つになる」を実現しています。
- 市民誰もがスポーツを楽しむことができ、スポーツを通じて様々な主体が連携して、まちの賑わいと魅力が生まれ、市民の愛着・誇りが高まっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地域のスポーツ環境の充実（再掲）
- 野津田公園スポーツの森の整備
- スポーツをする場の環境整備
- 忠生スポーツ公園の整備
- ホームタウンチーム等との連携の推進

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高年期
(65歳～)

＼ 政策 /

5

人生の豊かさを 実感できるまちになる



2025 年度の主な成果

5-1 重点事業① 地域介護予防活動支援

「町トレ」などの介護予防活動を行う地域のグループに対して、実技指導や体力測定等を実施し、活動の継続に向けた支援を行いました。市ホームページでの取組効果の周知なども行い、11グループが新たに活動を開始し、累計の活動団体数は目標値（222 団体）を上回る 236 団体となりました。



5-2 重点事業① 認知症の人やその家族の居場所づくり

認知症の人にとって、町田市がどのようなまちであってほしいかの視点で 16 の文章にまとめた「16 のまちだアイ・ステートメント」をテーマとして、認知症とともに生きるまちづくりワークショップ等のイベントを開催しました。2024 年度（109 人）を超える 157 人が参加し、認知症とともに生きるまちづくりに対する理解が進みました。

5-2 重点事業② 介護人材の確保・育成・定着

町田市介護人材バンクにて、就職面接会やオンラインを含む就労相談、求職・求人アプリの運用、介護職員初任者研修の資格取得支援などを実施した結果、目標値の 45 人を上回る 63 人が就労につながりました。

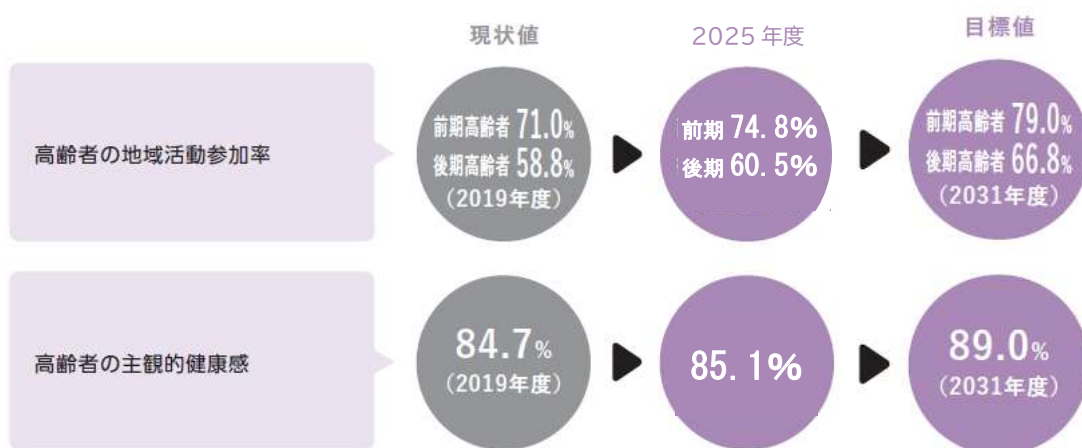


施策 5-1 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

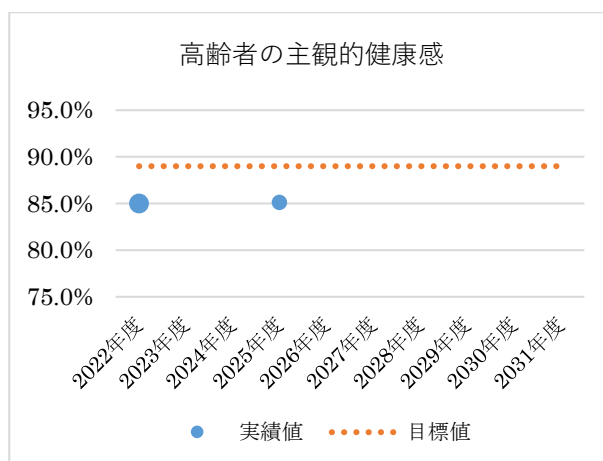
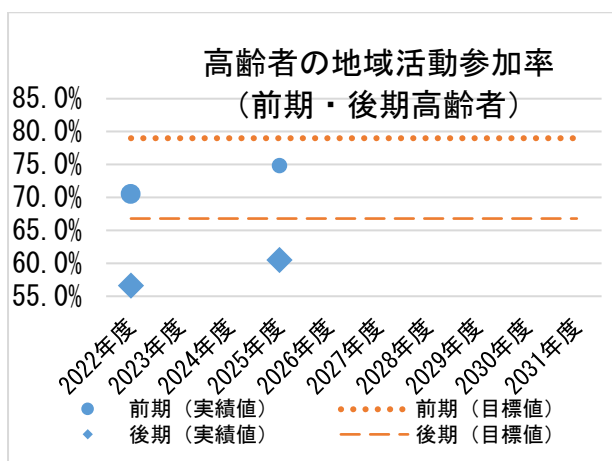
施策実現によってなりたい姿

- 高齢者が住み慣れた地域で、地域の一員としていきいきと暮らすことができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地域介護予防活動支援

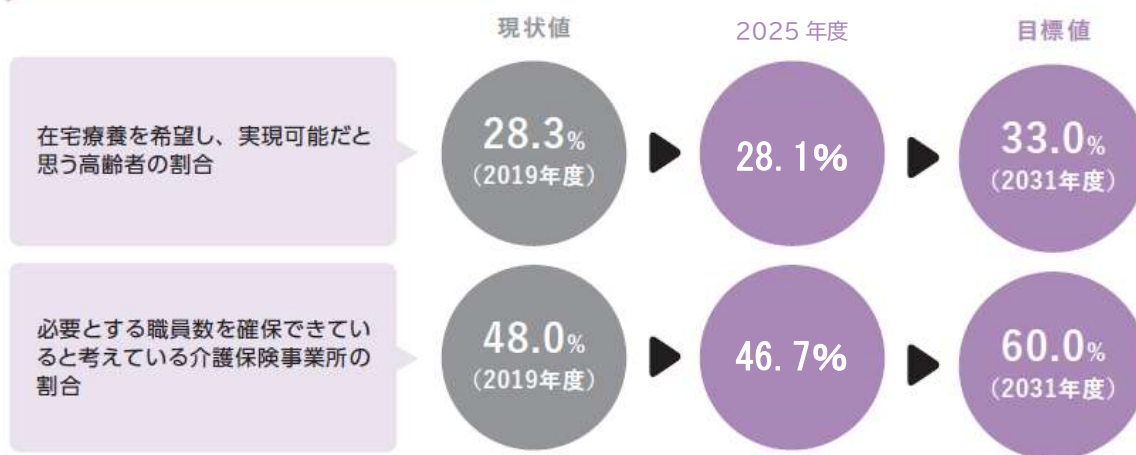
施策 5-2

高齢者を地域で支える体制をつくる

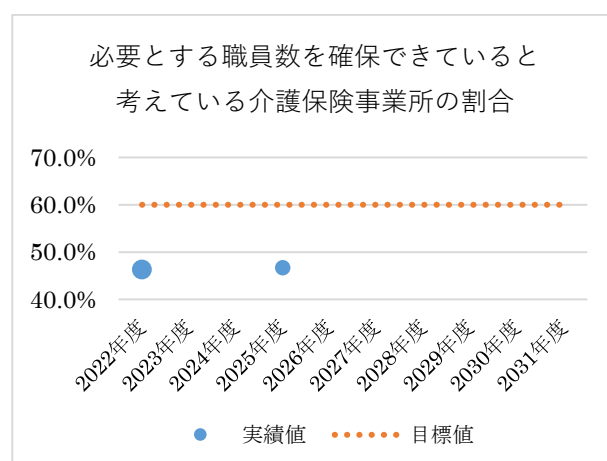
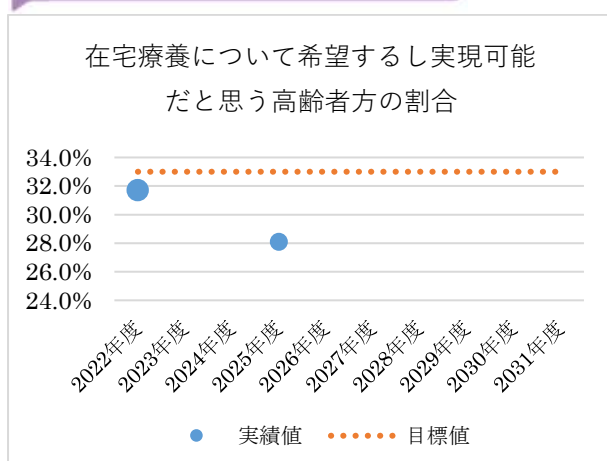
施策実現によってなりたい姿

- 支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できています。
- よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 認知症の人やその家族の居場所づくり
- 介護人材の確保・育成・定着

全世代に向けて

政策 /

6

つながりを力にする まちになる



2025 年度の主な成果



6-1 重点事業① 地域活動団体支援

団体・個人からの地域活動に関する相談受付、団体間の連携強化や組織基盤を強化する講座等を実施し、目標を上回る 58 団体の活動の活性化につなげました。「まちだづくり応援基金」では、9 つの取組（例：不登校経験のある中・高校生の折り染め先生プロジェクト等）について新たなチャレンジを支援しました。

6-1 重点事業③ 地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化

2025 年 4 月に、新たに 3 地区に地域福祉コーディネーターを配置するとともに、活動拠点及び相談窓口として「まちだ福祉〇(まる)ごとサポートセンター町田」を開設し、市内全 5 地域での相談支援体制が整いました。5 地域での年間相談件数は約 9,000 件となっており、地域の身近な相談窓口として、多くの市民の方の困りごとの解決をサポートしました。



6-2 重点事業③ プラスチックごみの減量の推進

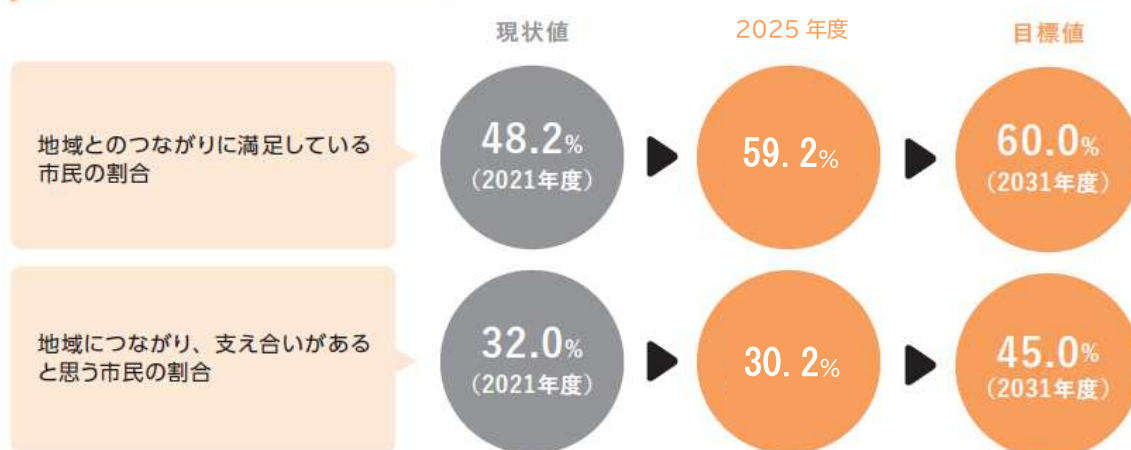
2026 年度からの容器包装プラスチックの市全域での収集・資源化の開始に向けて、町内会・自治会と連携した個別説明会などを計 100 回開催し、延べ 4,700 人が参加したほか、「分別お試し袋」と案内チラシの全戸配布も行いました。加えて、玉川大学の協働による学園祭出展や国際交流センターと協働したチラシ作成等、様々な形で周知・啓発を行い、プラスチックごみの減量を推進しました。

施策 6-1 つながり、支え合える 基盤をつくる

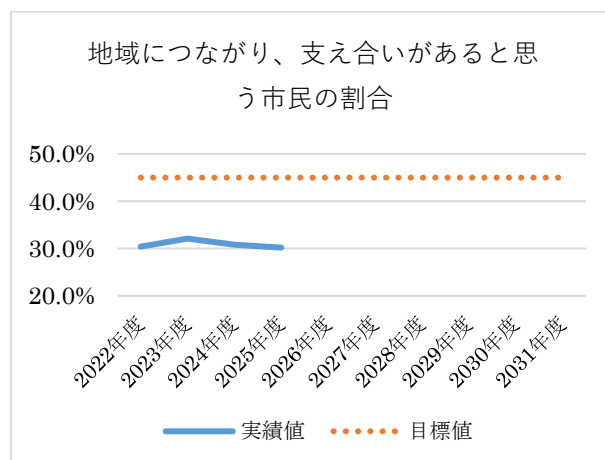
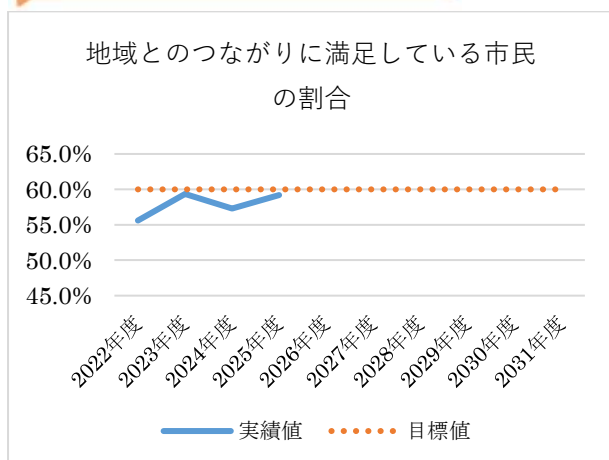
施策実現によってなりたい姿

- 地域や人との多様な関わり方がある中で、「自分ゴト」として地域活動への参加がしやすい状態になっています。個人の「やりたいこと」「できること」と地域ニーズとのマッチングが進み、より多くのつながりが創出されています。
- 市民、事業者、行政などが一体となって地域課題の解決に取り組むことで、新たなアイデアや活力が創出されています。
- 地域自らが地域の課題を把握し、支援につなげることができています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

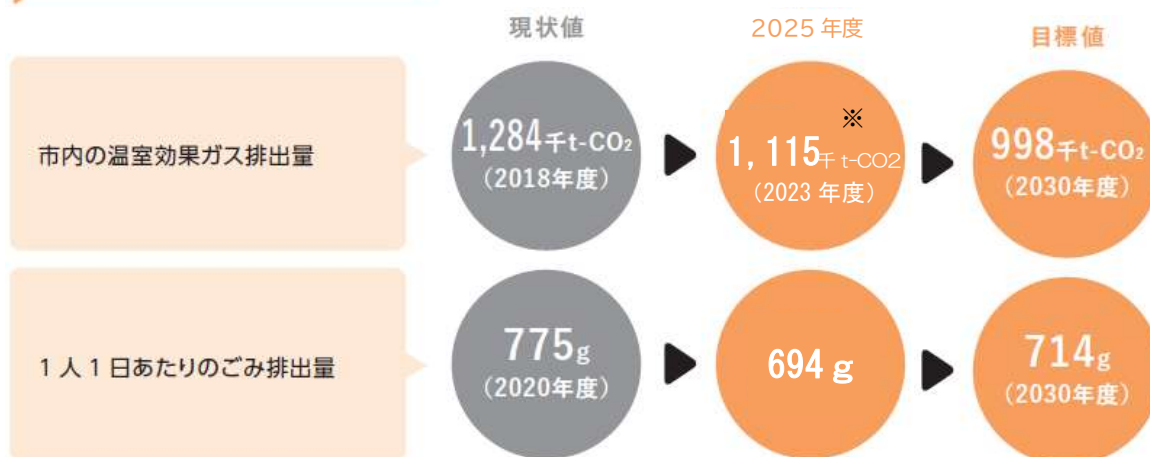
- 地域活動団体支援
- ワタシが主役の図書館づくりの推進（再掲）
- 地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化

施策 6-2 みんなで将来に受け継ぐ 持続可能な環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

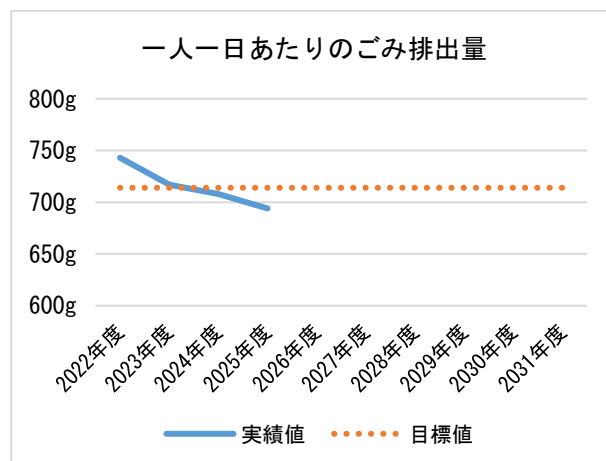
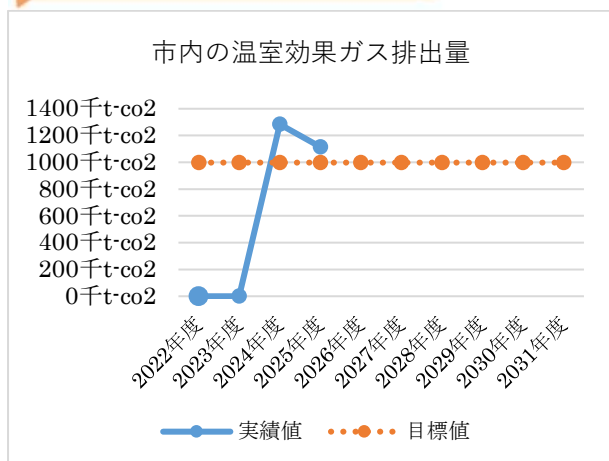
- 市民、事業者、行政が協力して、地球温暖化対策や生物多様性^{*}の保全に取り組む、次の世代が暮らしやすい環境が受け継がれています。
- 市民、事業者、行政が協力して、ごみの発生抑制、適正処理、リサイクルを行っています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内の温室効果ガス排出量」は、公表が翌々年度の3月頃のため、直近（2023年度）実績を記載しています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 地球温暖化対策の推進
- プラスチックごみの減量の推進
- 資源循環型施設の整備

全世代に向けて

\ 政策 /

7

ありのまま自分を 表現できるまちになる

2025 年度の主な成果



7-1 重点事業② 障がい者差別解消推進

「東京 2025 デフリンピック」を契機とした、市庁舎での全国キャラバンカーとの写真撮影、デフアスリートとの交流、パネル展示などのイベントを実施し、障がい理解促進のための取組を行いました。

また、障害者週間の市庁舎イベントでは東京都と共催で「デジタル技術を活用したスポーツ体験・交流ブース」を出展するなど、合理的配慮を広めるための活動を実施するとともに、町田商工会議所と連携して市内協力店舗にて「心のバリアフリーの日」を開催し、市民や事業者の障がいに対する理解を促進しました。

7-1 重点事業③ 成年後見制度の利用支援

第 6 期市民後見人育成研修修了者に対する最終面接審査を実施し、新たに 14 人を登録し、累計の登録者数が 106 人となり、目標（100 人）を達成しました。全ての登録者に向けて年 4 回フォローアップ研修を実施するなど、安心して活動することが出来るバックアップ体制を充実させた結果、多摩 26 市中 1 位の受任件数となっています。



施策 7-1 一人ひとりの個性を大切に する地域をつくる

施策実現によってなりたい姿

- 誰もが安心して快適に住み続けることができる地域社会になっています。
- 必要な人に、必要となる配慮や支援が届けられる環境が整っています。
- 一人ひとりの人権を尊重し認め合い、その人の個性と能力を十分に発揮することで、その人らしくいきいきと生きることができています。

なりたい姿の実現度を測る指標

性別、信条、職業、国籍、障がいなどによる差別がないと思う市民の割合

現状値

81.8%
(2020年度)

2025 年度

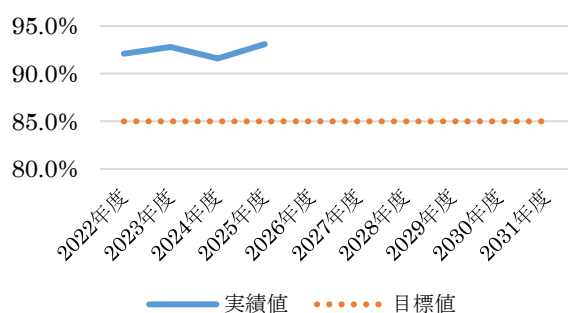
93.1%

目標値

85.0%
(2031年度)

指標の経過

性別、信条、職業、国籍、障がいなど
による差別がないと思う市民の割合



施策を実現するための重点事業

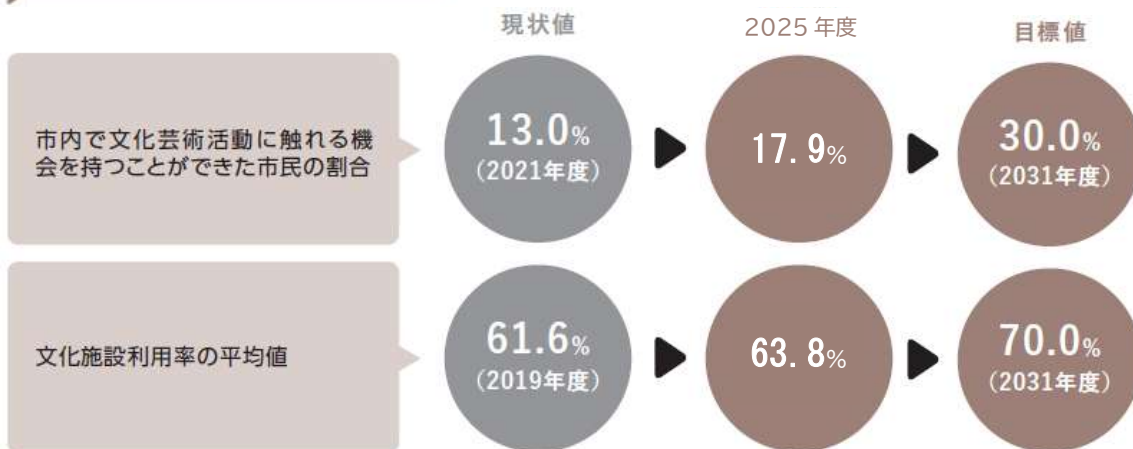
- 性の多様性への理解の促進
- 障がい者差別解消推進
- 成年後見制度の利用支援

文化芸術に親しめる 環境・機会を充実させる

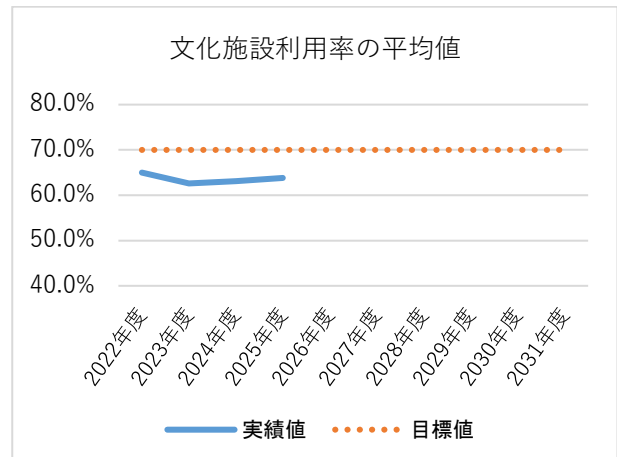
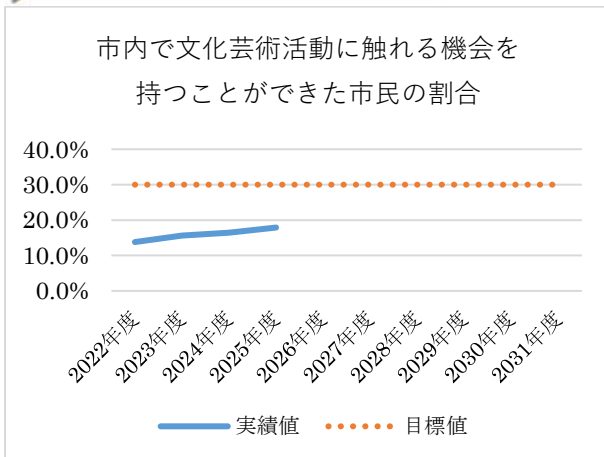
施策実現によってなりたい姿

- 「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」になっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアムの整備

『町田市文化芸術のまちづくり計画』を策定しました！



市民やまちづくりに関わる
方々が、文化芸術を楽しみ、町
田市への愛着やまちの賑わいに
つなげていくことを目的とし
て、今後 10 年間の指針となる
計画を策定しました。

目指す姿『文化芸術を育み
笑顔咲くまち～町田で Let's
stART～』の実現に向けて、
以下の 4 つの方針に沿ってこれ
から取組を進めていきます。

- 方針 1 「きっかけをつくる」
- 方針 2 「場をつくる」
- 方針 3 「未来につなぐ」
- 方針 4 「共に創る」

『文化芸術のまちだアンバサダー』を任命しました！

皆さんが、文化芸術をより身近に感じ、親しむための架け橋として、町田市を拠点に活動するロックシンガー・けいたろうさんを『文化芸術のまちだアンバサダー』に任命しました。

けいたろうさんは全国各地で精力的に活動する一方、TikTok で 25 万人超のフォロワーを持つ人気インフルエンサーでもあります。

今後は、自身の活動や市内で開催されるイベント出演、SNS での情報発信などを通じて町田市の文化芸術の魅力を多くの方に発信していきます。



全世代に向けて

政策 /

8

思わず出歩きたくなる まちになる



2025 年度の主な成果



8-1 重点事業④・⑤

都市計画道路の整備・準幹線道路の整備

都市計画道路 3・4・41 号線（小山）の整備について、境川への架橋工事と町田市との交差点工事が完了し、2025 年 9 月に新たな道路が開通したことで、町田市と相模原市の相互アクセスが向上しました。さらに、忠生地域と多摩市を結ぶ忠生 630 号線についても、2026 年 3 月に道路改良工事が完了し全線開通したことで、より安全で快適に通行できるようになりました。



8-3 重点事業⑤ （仮称）蓮田公園の整備

町田市バイオエネルギーセンターの北側、鶴見川流域の里山の風情が残る場所に位置し、小山田神社周辺に広がる大賀ハスの魅力を活かした、自然と水辺に親しめる公園として整備した小山田蓮田緑地の一部を、2025 年 7 月にオープンしました。2026 年 3 月には休憩棟も完成し、地域住民の方々の憩い・交流の場が誕生しました。

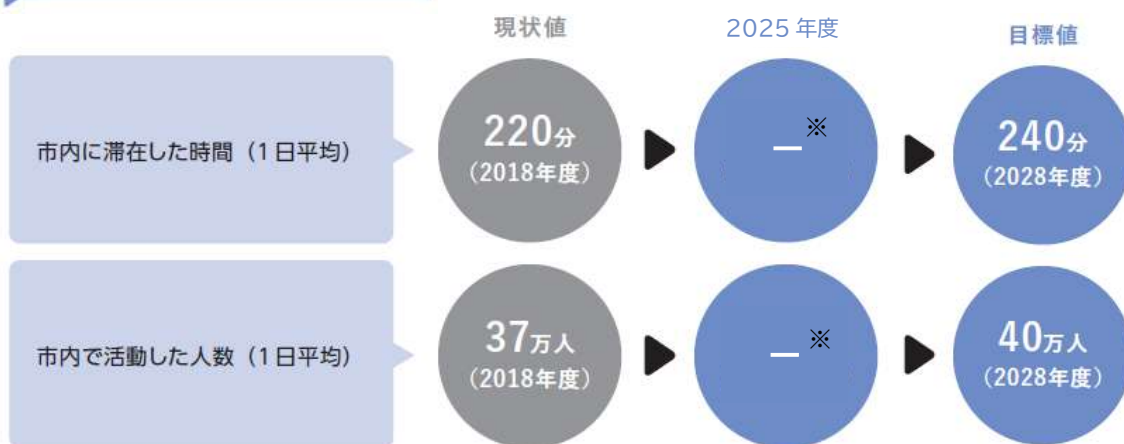


施策 8-1 気軽に外かけてつながれる環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

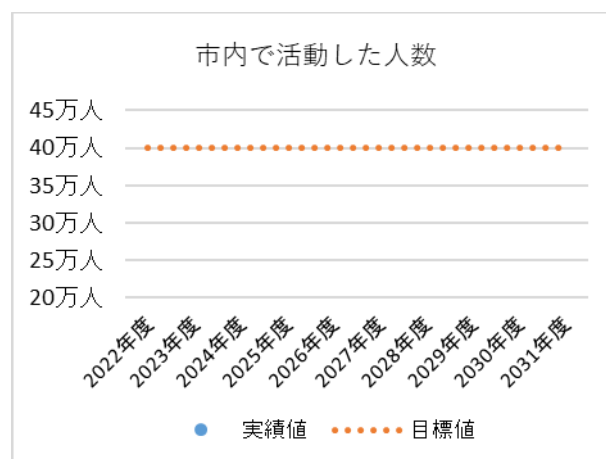
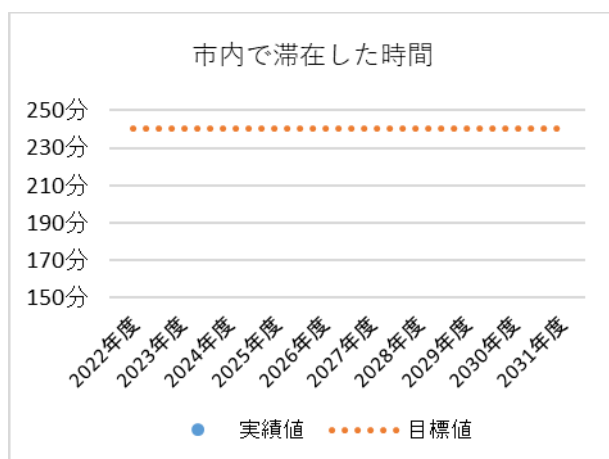
- 多様な交通手段の中から自分に合った方法を選んで、目的地まで快適に移動ができています。多くの人が市内への外出を楽しんでいると感じており、まちなかで活動する人が増えています。
- 日常生活に必要なモノ・サービスに簡単にアクセスできる環境が整っています。多くの人が市内で活動する便利さや快適さを感じており、様々な活動の場として選ばれています。

なりたい姿の実現度を測る指標



※「市内に滞在した時間」「市内で活動した人数」は、概ね10年に1回のパーソントリップ調査によって調査されており、2025年度は調査未実施のため「—（ハイフン）」としています。

指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 小さな交通・地域で支える交通環境の整備
- 大きな・速い交通の整備
- 自転車利用環境の整備
- 都市計画道路の整備
- 準幹線道路の整備
- 鶴川駅周辺のまちづくりの推進
- 相原駅周辺のまちづくりの推進

施策 8-2 ライフスタイルに合わせて 自分らしくまちを使えるようにする

施策実現によってなりたい姿

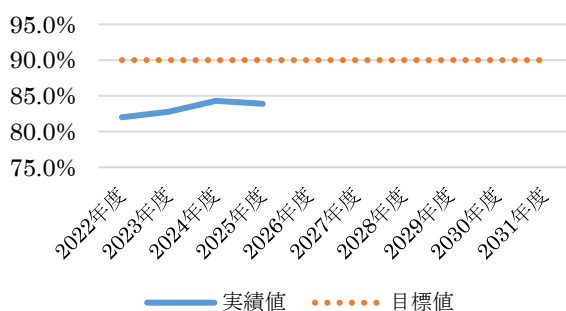
- 拠点駅の近くは「働く」「遊ぶ」「集う」「住む」など多様な使い方ができるとともに、歩く目的に溢れています。楽しい時間を過ごすことができ、新しいことが生まれ、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるようなまちが形成されています。
- 多様な選択肢から自分に合った住まいや働き方が選んでいます。市内だけでなく市外からもライフステージに合わせた住み替えが進み、多世代交流・共生のまちが形成されています。
- 身近な公園や農地などのオープンスペースを柔軟に使える環境と、多様な活動を推進する仕組みが整っています。多くの人が身近なオープンスペースで思い思いに活動し、日常的にまちを使うことで地域への愛着が醸成されています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過

自分が住む地域での生活に満足している市民の割合



施策を実現するための重点事業

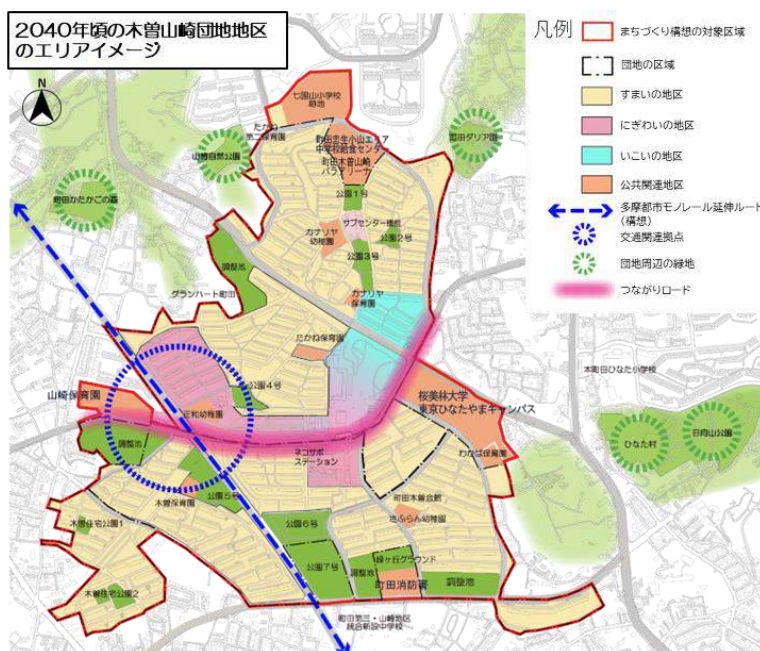
- 団地再生の推進
- 忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進
- 木曽山崎団地地区のまちづくりの推進 **コラム**
- 町田駅周辺地区のまちづくりの推進
- 中心市街地の賑わい空間の創出



『町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想』を改定しました！ ～地域の皆さまと、地区の未来を考えています～

木曽山崎団地地区では、2013年7月に策定した「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」で掲げた5つの学校跡地における拠点整備が、町田木曽山崎パラアリーナの整備をもって完了します。

これからのまちづくりを進めるにあたり、これまでのまちづくりの進捗を踏まえ、そして多摩都市モノレールの延伸を見据えて、2026年3月に「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」を改定しました。



今後は、改定した構想に基づき、多摩都市モノレールの新駅開業を想定する2040年頃を見据えて、駅周辺の交通関連拠点の整備とともに、新たに商業・飲食・娯楽・働く場などの導入や既存センター地区のさらなる充実、幅広い活動・体験や健康・憩いの空間の創出、多様なニーズに対応する中高層住宅等の整備などに取組みます。

にぎわいや**いこい**、**すまい**の機能を充実させるまちづくりを進めることで、木曽山崎団地地区を多くの人々が訪れ、多世代が安心して暮らす、活気あふれるまちへ変えていきます。

施策 8-3 健やかで心地よい時間を 過ごせる環境をつくる

施策実現によってなりたい姿

- 地域の特色に合わせたみどりの空間づくりにより、多彩で豊富なみどりがまちを象徴する魅力の一つに育っています。多くの人がみどりの中で日常的に心地よい時間を過ごし、みどりを馴染み深い場所と感じています。
- みどり(公園、農地、里山など)を活用した地域住民の能動的な活動が促され、地域内資源の循環が促進されています。
- 都市農地 の保全と利活用により、農地の多面的機能が発揮されています。

なりたい姿の実現度を測る指標

みどりの環境に満足している
市民の割合

現状値

79.8%
(2021年度)

2025 年度

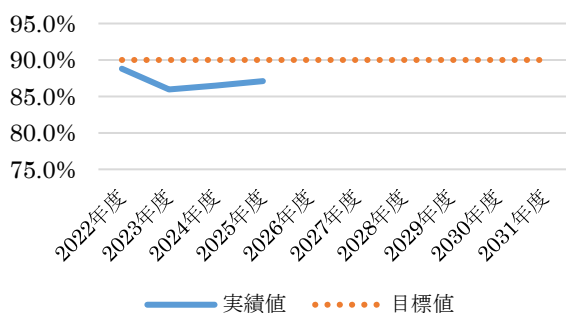
87.1%

目標値

90.0%
(2031年度)

指標の経過

みどりの環境に満足している
市民の割合



施策を実現するための重点事業

- 芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアムの整備 (再掲)
- 野津田公園スポーツの森の整備 (再掲)
- (仮称) 蓮田公園の整備
- (仮称) 大戸広場の整備
- 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進 (再掲)
- 香山緑地の整備 (再掲)
- 忠生スポーツ公園の整備 (再掲)
- 都市農地の保全活用の取り組み

コラム

～まちだの野菜や農とつながる～ まちだベジハブの取組



市内に残る農地を守り、市民の皆さんが「農」を身近に感じられる場をつくるため、「まちだベジハブ」の取組としてプラットフォームを展開しています。

下小山田・国師町地区を中心に、新しい「農」の楽しみ方が広がっています。

1. みんなのおすすめスポット満載！「散策マップ」完成

多くの農地が点在する下小山田・国師町エリアの魅力歩いて発見してもらうため、地域住民の皆さんと一緒に「身近な農とみどりを楽しむ散策マップ」を作成しました。

☑内容：桜並木や紅花畑、地元野菜の直売所、オススメの散策路等の歩きたくない情報を掲載。マップ片手に農風景を巡る楽しみを提案しています。



2. 農業者による味噌づくりワークショップ

2026年3月15日、町田市バイオエネルギーセンターにて、地元農業者と市民が直接ふれあうワークショップを開催しました。

☑素材：希少な「津久井在来大豆」を使用。
☑特徴：発酵専門家を講師に招き、人形劇を交えて解説。
☑評価：満足度100%！「工程もわかりやすく自宅で挑戦してみようと思いました」との声。

3. まちだベジハブマルシェの開催

2025年12月6日、小田急町田駅ビル東口広場が、一日限定で緑豊かな「農の交流空間」に変わりました。

☑内容：地元生産者による新鮮野菜や加工品・飲食販売を実施。
☑工夫：人工芝やハンモックを設置し、くつろげる空間を演出。
☑実績：約500名が来場。「おいしい野菜をありがとう！」との声。



Instagramで情報発信中！

旬の野菜販売情報やイベントの様子をお届けしています。
アカウント名：machida_vegehub（まちだベジハブ）
ぜひフォローをお願いします！



@MACHIDA_VEGEHUB

全世代に向けて

＼ 政策 ＼

9

みんなが安心できる 強いまちになる



2025 年度の主な成果

9-2 重点事業⑤

自転車利用環境の整備

安全に自転車が走行できる自転車通行空間の整備を進め、忠生 630 号線において、自転車の通行を誘導するナビマークの設置を完了しました。また、尾根緑道において、カラー舗装で歩道と自転車通行空間を視覚的に分離する整備工事を完了しました。その結果、市内の累計整備延長は目標値（6.2km）を上回る 8.2km となりました。



9-3 重点事業① 自殺対策の推進

関連団体等による主体的な取組を共有するとともに、連携・協力して自殺対策を推進することができるよう、自殺対策推進委員会を開催しました。加えて、自殺対策普及啓発キャンペーンやゲートキーパー養成講座を通じた啓発、さまざまな分野に関する相談を 1 つの場所で受け付ける総合相談会、インターネット広告機能を活用した SNS 自殺防止相談事業等を実施しました。その結果、町田市の人口 10 万人当たりの自殺死亡率は、直近 3 ヶ年の平均で 14.8 となり、全国（16.2）、東京都（16.0）の数値を下回っています。



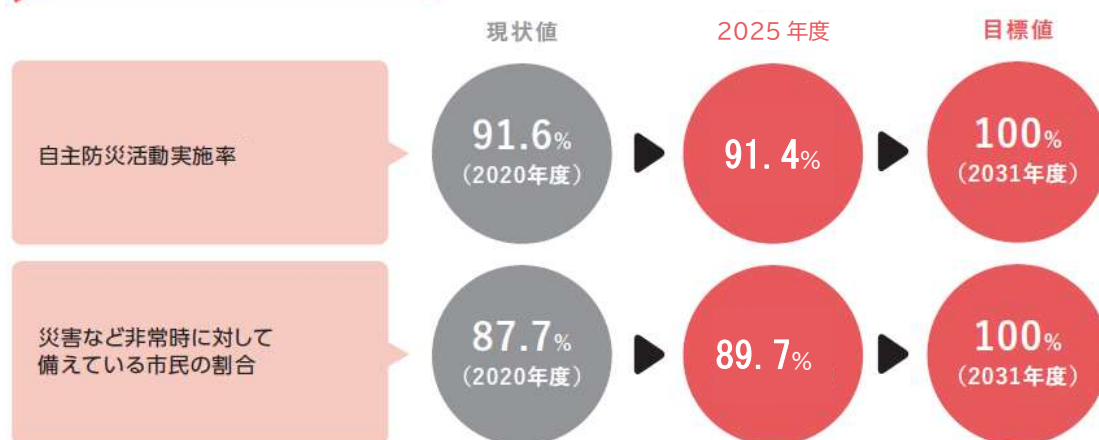
施策 9-1

ひと・まちを 災害に強くする

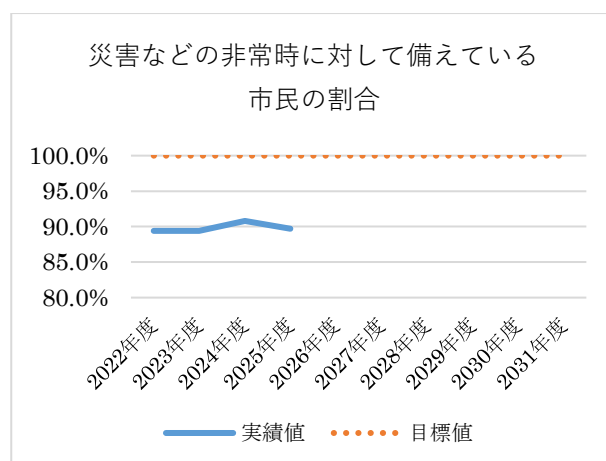
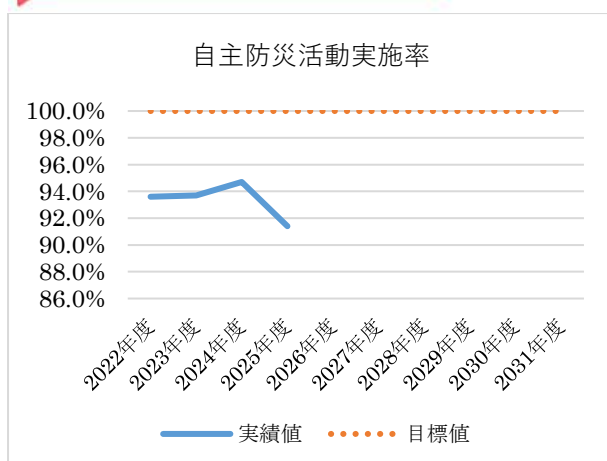
施策実現によってなりたい姿

- 市民一人ひとりが、災害に対して備えるとともに、地域における防災活動に積極的に参加することで、地域一丸となって災害に対応する体制が整っています。また、道路などの各種インフラが整備され、災害復旧時に有効活用されています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

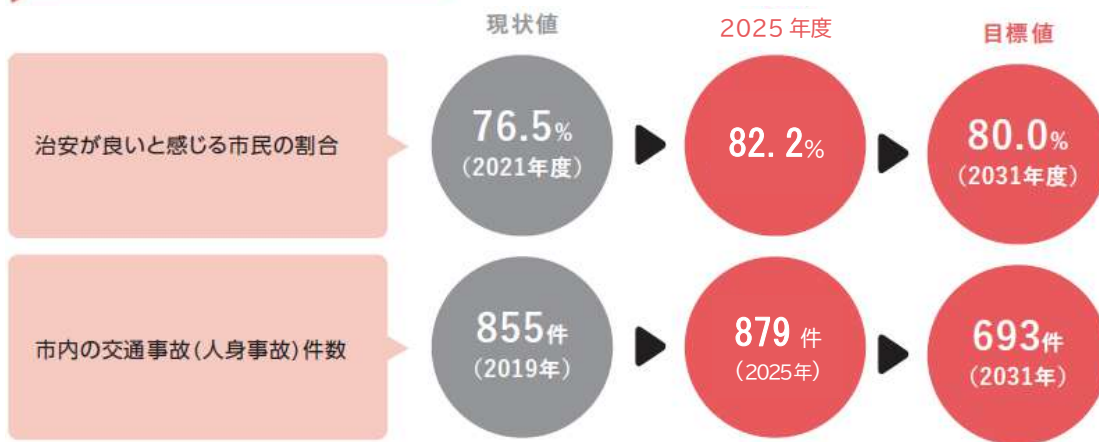
- 自主防災リーダーの育成
- 地震対策（雨水管の耐震化）
- 浸水対策の推進
- 住宅の耐震化の促進
- 避難行動要支援者の避難支援体制整備
- 地震対策（下水道処理施設の耐震化）
- 無電柱化の推進
- 緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化促進

施策 9-2 地域の安全を守る

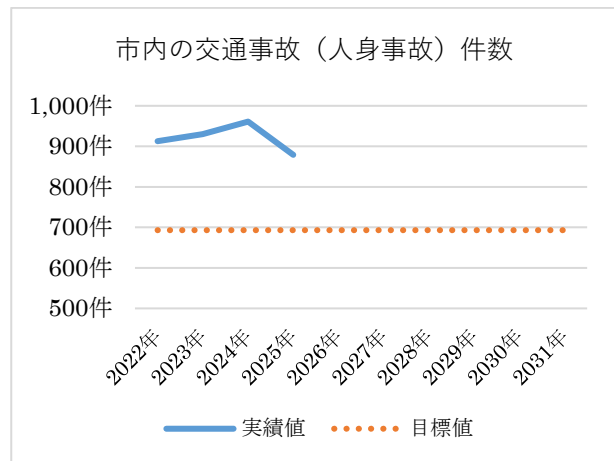
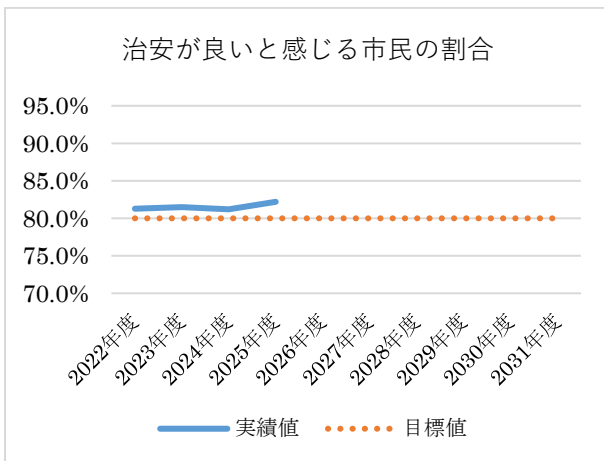
施策実現によってなりたい姿

- 町田市で暮らす人が安全に生活でき、町田市を訪れる人が安心して訪れることができます。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

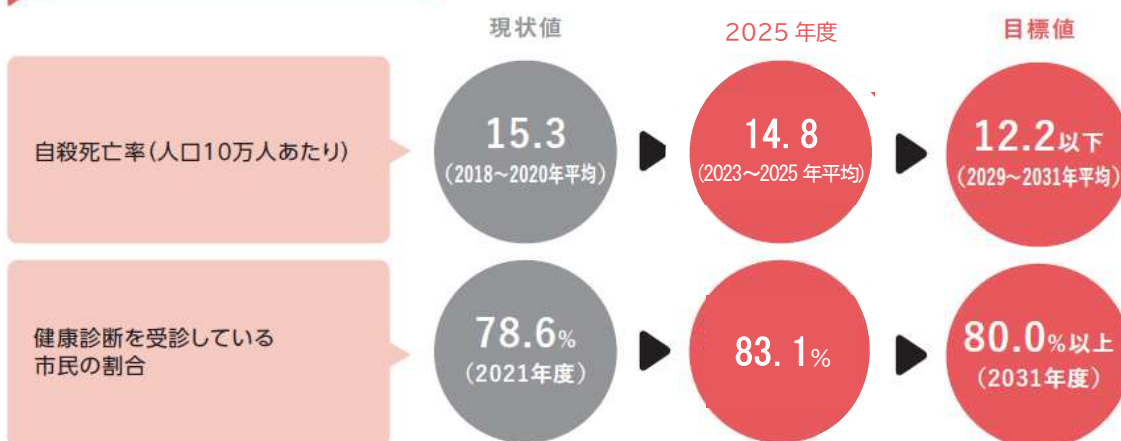
- 協働パトロールの充実
- 交通安全ミーティングの推進
- 踏切道の改良
- 道路安全設備の緊急更新
- 自転車利用環境の整備（再掲）

施策 9-3 市民の健康を守る

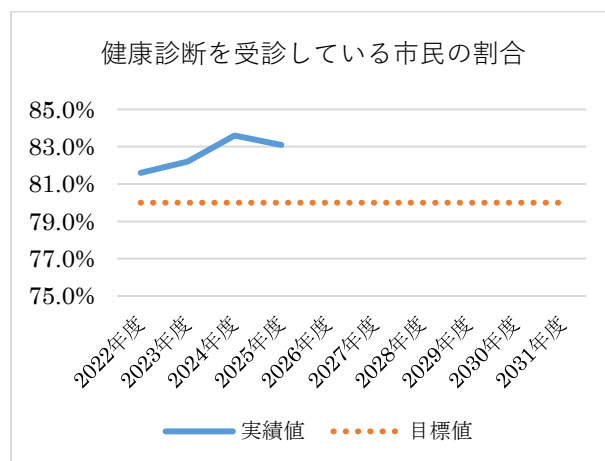
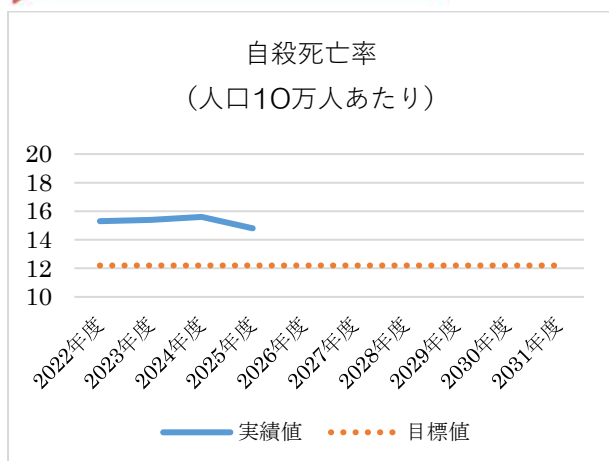
施策実現によってなりたい姿

- 心や体の健康が脅かされる危機が発生したときに、市、市民、関係機関などが相互に理解、協力をして健康を守れるようになっています。

なりたい姿の実現度を測る指標



指標の経過



施策を実現するための重点事業

- 自殺対策の推進

経営基本方針

4 経営基本方針の取り組み結果

まちだ未来づくりビジョン2040に掲げる「経営基本方針」及び、町田市5ヵ年計画22-26の「経営改革プラン」について、それぞれ設定した指標の状況や取り組み結果をまとめました。

(1) 経営基本方針の到達状況

各基本方針に設定した指標の目標値に対する2025年度の状況を示しています。

なお、目標値は、2022年度から2031年度までの10年間をかけて達成することを目指した数値です。

基本方針	現状値 (計画初期値)	目標値 (2031年度)	実績値 (2025年度)
基本方針1 共創で新たな価値を創造する			
必要な時に必要な情報を入手できていると思う市民の割合 ^{※1}	58.9%	70.0%	59.0%
行政手続きの利便性が向上したと感じる市民の割合 ^{※1}	49.1%	75.0%	67.6%
多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数(累計)	—	100件	82件
基本方針2 対話を通して市役所能力を高める			
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合	72.6%	85.0%	85.2%
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合 ^{※1}	89.7%	90.0%	93.9%
自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合	77.0%	90.0%	88.9%
職員の職場満足度	76.2%	80.0%	— ^{※2}
基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する			
経常収支比率	91.9%	↓	92.5%
実質公債費比率	0.5%	→	1.1%
財政調整基金年度末残高	90億円	90億円	138億円
公共施設の利用者満足度	89.9%	90.0%	69.5%

※1「市民の割合（〇〇している市民の割合）」の指標については、「2025年度町田市市民意識調査」の無回答数を除いた有効回答数を100%として算出しているため、「2025年度町田市市民意識調査報告書」の数値結果と異なる場合があります。

※2「職員の職場満足度」の指標については、隔年度調査で、2025年度には実施していないため、実績値を「—（ハイフン）」としています。

5 経営改革プランの取り組み結果

各経営改革の取り組みで設定する、それぞれの指標の 2025 年度目標値に対する実績値（取り組み結果）を示しています。

(1) 経営基本方針との関係性

各経営改革の取り組みを推進することで、経営基本方針で設定した基本方針ごとの指標（P65 参照）の向上を図っています。

* 基本方針と各経営改革の取り組みの指標は、異なるものを設定しています。

(2) 取り組み結果一覧

<「取り組み結果」の考え方>

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「○・△」の 2 段階で達成度を表示。

○…目標値を上回った場合（目標値に対して 100% 以上の実績値の場合）

△…目標値を下回った場合（目標値の 100% 未満の実績値の場合）

* 「取り組み結果」の割合は、目標値に対する実績値の割合です。なお、100% を超える場合にも 100% を上限としています。

2025 年度達成率・・・95%

* 「2025 年度達成率」は、全取り組みの達成率の平均から算出しています。

* 「基本方針」及び「改革項目」の達成率は、それぞれに紐づく取り組みの達成率の平均から算出しています。

* 2025 年度時点で事業未実施及び、事業実施しているが目標指標を設定していないもの（現状維持で現状値から変化のないものを含む）については、「－（ハイフン）」とし、達成率の算出から除いています。

* 目標達成年度が 2024 年度までの事業のうち、目標が達成できていないものについては、2024 年度以前に設定している目標値を 2025 年度に繰り越して達成率を算出しています。

* 定性指標に関するもののうち、目標として設定した文字通りの状況に到達していない場合には、「取り組み結果」の割合を 50% としています。

基本方針1 共創で新たな価値を創造する【達成率:98%】

改革項目1-1 情報の双方向性を高める【達成率:97%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 顧客に合わせた情報発信の拡充	86%	広報活動の市民満足度	△(71%)	— (72%以上)	70.8%
		情報発信する場の提供累計回数	○(100%)	36回 (12回/年)	81回 (23回/年)
2 緊急時における情報発信の強化	100%	新たな情報提供体制の構築・運用開始	○(100%)	運用・見直し	運用・見直し
		広報紙の緊急臨時号発行体制の構築	—	—	—
3 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充	100%	大学と連携した対応記録の分析累計回数	○(100%)	4回 (1回/年)	4回 (1回/年)
		無作為抽出アンケートの累計調査回数	○(100%)	8回 (2回/年)	8回 (2回/年)
		デジタルを活用した新たな仕組みの導入	○(100%)	新たな仕組みの導入	新たな仕組みの導入
		Webアンケートの累計調査回数	○(100%)	48回 (12回/年)	90回 (24回/年)
4 オープンデータの充実	100%	公開データファイル累計件数	○(100%)	937件 (50件/年)	1,352件 (117件/年)
		ダウンロード件数	○(100%)	2024年度より増	2,491,809件

改革項目1-2 行政サービスのデジタル化を推進する【達成率:97%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 マイナナンバーカードの普及及び利用促進	95%	マイナナンバーカード交付率	△(84%)	— (100%)	83.6%
		出前申請受付サービスのイベント実施累計回数	—	—	—
		コンビニで発行した証明書の割合(住民票、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書等)	○(100%)	30%	50.9%
		コンビニで発行した証明書の割合(課税・非課税証明書)	○(100%)	23%	39.4%
2 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	100%	“e-まち”実現プロジェクトの取組累計件数	○(100%)	53件 (5件/年)	176件 (30件/年)
		オンライン化した手続累計件数	○(100%)	288件 (25件/年)	752件 (199件/年)
		情報セキュリティ外部監査の実施率	○(100%)	100%	100%

改革項目1-3 多様な主体との協力体制を強化する【達成率:99%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 共創による地域社会づくりの推進	97%	多様な主体の連携による地域課題解決のための取り組み数	○(100%)	70事業 (5事業/年)	82事業 (5事業/年)
		地域活動にかかわった関係者の数	○(100%)	1,900人/年	4,424人/年
		共創・協働を意識している職員数	△(91%)	70%	64%
2 外部意見の活用	100%	委員会からの助言・提言の市政への反映累計数	○(100%)	20件 (5件/年)	28件 (6件/年)
		包括外部監査実施方法の見直し	○(100%)	新たな実施方法の開始	新たな実施方法の開始
		包括外部監査の措置率(過去5か年の措置率)	○(100%)	90%	100%
3 市政モニタリングの実施	100%	市民参加型事業評価の開催	○(100%)	開催準備	開催準備
		市民参加型事業評価の改善プログラム達成率	○(100%)	2024年度 開催分70%	2024年度 開催分89.5%
		CFCI新規実施累計事業数 (既存事業の改善含む)	○(100%)	8事業 (2事業/年)	8事業 (2事業/年)
4 非常時に備えた組織体制の構築	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○(100%)	4回 (1回/年)	4回 (1回/年)
		地域防災計画及び事業継続計画修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
		町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○(100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討

基本方針2 対話を通して市役所能力を高める【達成率:95%】

改革項目2-1 強くなやかな組織を構築する【達成率:94%】

取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	事務事業の見直し	100%	業務改善プロジェクトの実施累計業務数	○ (100%)	10業務 (3業務/年)	27業務 (4業務/年)
			デジタル技術を活用した改善業務累計数	○ (100%)	140業務 (35業務/年)	705業務 (232業務/年)
2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	100%	職員定数	○ (100%)	2,170人	2,160人
			事務決裁規程の見直し	-	-	-
3	非常時に備えた組織体制の構築(再掲)	100%	防災対策連絡調整会議の開催累計数	○ (100%)	4回 (1回/年)	4回 (1回/年)
			地域防災計画及び事業継続計画修正	○ (100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
			町田市新型インフルエンザ等対策行動計画の修正	○ (100%)	計画の修正・検討	計画の修正・検討
4	市税業務改革	75%	税務3課における業務改善の取組事例累計数	○ (100%)	3件 (1件/年)	7件 (0件/年)
			包括外部委託の活用	△ (50%)	一部実施 (資産税課)	実施検討 (資産税課)
5	社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	-	民間委託及び事務の統合	-	-	-
6	学校給食業務の運営体制の最適化	91%	給食調理業務の委託を新たに実施する小学校の累計数	△ (91%)	33校	31校
7	学校用務業務の運営体制の最適化	100%	修繕等における用務職が対応する割合	○ (100%)	83%	98%
8	学校事務業務の運営体制の最適化	100%	学校事務職員における正規・再任用の職員数	○ (100%)	18人	18人
9	小中学校における学校経営の支援	84%	学校徴収金の公会計化	-	-	-
			中学校給食費の公会計化	-	-	-
			副校長補佐を配置する学校の累計数	△ (84%)	49校 (8校/年)	41校 (0校/年)
10	市民センター等における最適なサービスの構築	-	証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止	-	検討	- ※1
			民間協働により管理運営する施設累計数	-	8施設 (2施設/年)	- ※2

改革項目2-2 未来を創る職員を育てる【達成率:98%】

取り組み名		達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	96%	メンタル疾患による30日以上病休者割合 (2020年度26市平均値2.5%)	△ (97%)	26市平均値以下	3.7% (2025年度26市平均値3.6%)
			年次有給休暇の平均取得日数 (2020年度26市平均値13.1日)	○ (100%)	26市平均値以上	17.4日 (2025年度26市平均値15.2日)
			係長職に占める女性職員の割合	△ (85%)	40%	34%
			障がいのある職員の採用後1年以内の離職者数	○ (100%)	0人	0人
2	人材の確保と育成の推進	100%	採用試験の見直し	○ (100%)	2024年度の見直しに基づく試験の実施	2024年度の見直しに基づく試験の実施
			「町田市職員人材育成基本方針」に掲げる“めざす職員像”の認知度	-	-	-
			「町田市職員人材育成基本方針(第5期)」の策定	-	-	-
			「経営品質向上活動」を意識している職員の割合	○ (100%)	79%	92.6%

基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する【達成率:94%】

改革項目3-1 持続可能な財政基盤づくりを推進する【達成率:98%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 行政評価シートのさらなる活用	94%	費用対効果が改善した事業の割合	△（88%）	47%	41.5%
		課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みの実施割合	○（100%）	90%	99.0%
2 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理	100%	実質公債費比率	○（100%）	2.1%	1.1%
		市債年度末現在高	○（100%）	1,100億円	824億円
		財政調整基金年度末残高	○（100%）	80億円	138億
3 受益者負担の適正化	100%	基本方針の検証	○（100%）	- (検証を踏まえた見直し)	検証を踏まえた見直し
		受益者負担の見直し	○（100%）	実施公表	実施公表
4 国民健康保険事業財政の健全化	100%	赤字額（新型コロナウイルス感染症影響分を除く）	○（100%）	16.1億円	11.6億円
5 下水道経営基盤の強化	100%	モニタリング評価分析及び計画の見直し	○（100%）	モニタリング評価分析 (必要に応じた計画の見直し)	モニタリング評価分析 及び計画の見直し
6 病院事業の経営改善の推進	90%	経常収支比率	△（90%）	101%	90.5%
		5日以上有給休暇取得率 (医師)	△（89%）	100%	88.6%
7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保	100%	市庁舎の有効活用累計件数	○（100%）	35件以上 (7件以上/年)	35件 (7件/年)
		市庁舎のCO ₂ 排出量	○（100%）	1,774t	239t
		使い途を特定した期間限定のふるさと納税の累計実施件数	○（100%）	14件 (2件/年)	24件 (9件/年)
8 新たな資金運用の推進	100%	債券運用による運用益	○（100%）	53,091千円	76,148千円
9 道路アセットマネジメントの推進	100%	橋梁の維持管理、 ベデストリアンデッキの維持管理	○（100%）	予防型の維持管理 の実施	予防型の維持管理 の実施
		トンネル・横断歩道橋の維持管理	○（100%）	予防型の維持管理 の実施	予防型の維持管理 の実施
		街路樹の維持管理	○（100%）	植替え・撤去の実施	植替え・撤去の実施
		街路灯柱等の維持管理	○（100%）	計画策定	計画策定

改革項目3-2 市有財産を利活用する【達成率:74%】

取り組み名	達成率	目標指標	取り組み結果	目標値	実績値
1 公共施設再編の推進	72%	短期再編プログラムの取組達成率	△（87%）	68%	59%
		中期再編プログラムの策定	○（100%）	検討	検討
		2つの保健施設の集約	△（50%）	公募準備	健康福祉会館廃止 の方向性決定
		教育センターの複合化	△（50%）	設計・建設工事	基本設計着手
2 公共施設の管理運営手法の最適化	75%	中期修繕計画の改定	-	-	-
		施設管理運営手法の導入	△（50%）	施設情報の統合	施設情報の統合準備
		三次元化した建物情報モデル(BIM)の作成システムの導入	○（100%）	全面導入の検討	全面導入の可否の 決定

※1 2023年度の検討の結果、証明書発行に特化した窓口機能の縮小・廃止を取り止めました。

※2 2023年度の検討の結果、民間協働による管理運営の導入を取り止めました。

(2) 経営改革プランの効果額一覧

改革項目名		主 な 内 容	効果額（千円）
1-1-1	顧客に合わせた情報発信の拡充	記者発表やプレスリリース等によって情報発信をサポートした結果、市や関係団体等の魅力的な活動が、新聞や地域情報紙、Webメディア等に掲載されました。	14,454
1-2-1	マイナンバーカードの普及及び利用促進	マイナンバーカードを利用し、各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスの利便性をPRした結果、窓口での証明書の交付件数が減少しました。	336,440
1-2-2	デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進	AI ナビゲーターのバージョンアップや手続きのオンライン化等により、市民の利便性向上と業務の効率化を図りました。	577,369
2-1-1	事務事業の見直し	事務事業の見直しや生成 AI による QA チャットボットなどのデジタル技術の活用などにより、業務の効率化を図りました。	363,758
2-1-2	職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し	職員定数の見直しにより、職員の人件費を削減しました。	288,673
2-1-4	市税業務改革	法人市民税と軽自動車税に係る事務処理等の包括外部委託で、業務の効率化を図りました。	7,614
2-1-5	社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合	後期高齢者医療保険料及び介護保険料の収納事務を、市税と国民健康保険税の収納事務に一元化することを継続することで、収納率の向上を図りました。	76,530
2-1-8	学校事務業務の運営体制の最適化	市内の小中学校の学校事務職員の配置やグループ編成を再構築することで、学校事務業務の質の向上と事務の効率化を進めました。	8,680
2-2-1	職員が能力を発揮できる職場環境づくり	ワークライフバランスを推進することで、全庁的な時間外勤務時間を削減しました。	46,612
3-1-4	国民健康保険事業財政の健全化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	650,000
3-1-5	下水道経営基盤の強化	赤字補填を目的とした一般会計からの繰入金を削減しました。	45,958
3-1-7	市庁舎の適切な維持管理と財源確保	ふるさと納税やクラウドファンディング、市有財産貸付による有効活用等により、効果的な市歳入の確保及び歳出削減を図りました。	618,473
3-1-8	新たな資金運用の推進	資金管理計画を踏まえた債券運用を行うことにより、利益が生じました。	76,148
3-1-9	道路アセットマネジメントの推進	橋梁、ペDESTリアンデッキ、トンネル等について、長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の維持管理を行いました。	368,600
合 計			3,479,309

取り組みの達成状況と 主な成果

<経営改革プランのページ構成>

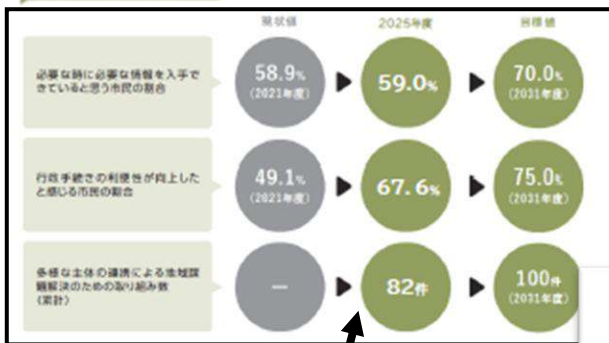
基本方針の中から抜粋した
経営改革の取り組み成果に
ついて記載しています。

基本方針 1 共創で新たな価値を 創造する

めざす姿

- 市民それぞれの知りたいことが共有され、活用できる環境が整っています。
- テクノロジーを活用し、誰もが時と場所を問わず受けられる最適な行政サービスが提供されています。
- 多様な主体がアイデアを出し、地域の活性化や市の抱える課題解決に取り組んでいます。
- 自治体間の連携を強化することで、市域を越えた行政サービスが提供されています。

めざす姿の実現度を測る指標



経営基本方針の実現度を図る
指標とその推移を記載し
ています。

経営改革の取り組みを
推進することで経営基
本方針で設定した指標
の向上を図ります。

基本方針ごとの経営改革の
取り組みを記載していま
す。

基本方針 / 1 共創で新たな価値を 創造する

2025年度の主な成果

1-1-2 緊急時における情報発信の強化

- 聴覚障がい者の方が、洪水や土砂災害のリスク等を音声で確認できるようにするために、Voice Blind（ユニボイスブラインド）アプリの「耳で聴くハザードマップ」を導入し、緊急時における情報発信の強化を図りました。
- 土砂災害ハザードマップについて、新たに隣接市の避難施設や浸水想定区域を記したことで、災害時においても安心して避難できるよう周知いたしました。
- 同時に市民に対して迅速に必要な情報を提供するため、町田市ホームページについて通信が不安定な状況やアクセスが集中しているときでも閲覧が行いやすい「非常時ウェブページ」に切り替える訓練を実施しました。

デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

市民の利便性向上と市役所の生産性向上のため、AIナビゲーターをバージョンアップのほか、介護保険認定審査会のオンライン化などを実施しました。また、防犯対策補助金申請や公立小中学校の通学費補助金など、年間の申請件数が行政手続きを中心に、新たに199件をオンライン化しました。これまでにオンライン化した手続きの累計件数は、752件になりました。

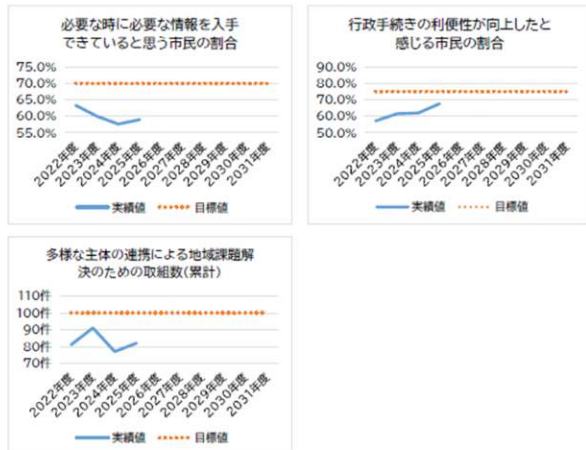
共創による地域社会づくりの推進

地域の課題解決に取り組む「地区協議会」に対して、活動に対する補助金、地域活動の確保と提供、地域おこしコーディネーターによるサポートといった支援を実施し、地域の盛り上げに寄与しました。また、地域で「やりたい」という思いを持った多様な主体と地区協議会との連携を進め、地域活動のつながりを深めました。これらの結果、地区の課題解決のためのプロジェクトが82件生まれました。

市政モニタリングの実施

「ともにやさしいまち」の実現のため、CFCIチェックリストの評価に基づく改善と、2件の取組を行いました。民間企業と連携して子どもの主体的な活動を促す取組として、「まちだ若者大作戦」の成果を報告するパネル展示イベントを実施しました。子どもたちの意見を市政に反映させる取組として、「（仮称）町田市5ヵ年計画31」の策定にかかるアンケートやワークショップを行いました。4年度に実施した市民参加型事業評価で示された対象6事業の改善プログラム全項目の内、2025年度実施予定であった19件中、17件を改善しました。具体的には公園に移動販売車を導入し公園の魅力アップに繋げたほか、若者の意見を取り入れ市の魅力発信を行うため、20名の若者による動画作成を行いました。

指標の経過



基本方針を実現するための取り組み

- 顧客に合わせた情報発信の拡充
- 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充
- マイナンバーカードの普及及び利用促進
- 共創による地域社会づくりの推進
- 市政モニタリングの実施
- 緊急時における情報発信の強化
- オープンデータの充実
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 外部意見の活用
- 非常時に備えた組織体制の構築

共創で新たな価値を 創造する



2025年度の主な成果

1-1-2 緊急時における情報発信の強化

- ・ 視覚障がい者の方が、洪水や土砂災害のリスク等を音声で確認できるようにするために、Uni-Voice Blind（ユニボイスブラインド）アプリの「耳で聴くハザードマップ」を導入し、緊急時における情報発信の強化を図りました。
- ・ 洪水・土砂災害ハザードマップについて、新たに隣接市の避難施設や浸水想定区域を記載したことで、災害時においても安心して避難できるよう周知しました。
- ・ 災害時に市民に対して迅速に必要な情報を提供するため、町田市ホームページについては、通信が不安定な状況やアクセスが集中しているときでも閲覧が行いやすい「非常時用トップページ」に切り替える訓練を実施しました。

1-2-2 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・ 市民の利便性向上と市役所の生産性向上のため、AI ナビゲーターをバージョンアップしたほか、介護保険認定審査会のオンライン化などを実施しました。
- ・ 住まいの防犯対策補助金申請や公立小中学校の通学費補助金など、年間の申請件数が多い行政手続きを中心に、新たに 199 件をオンライン化しました。これまでにオンライン化した手続きの累計件数は、752 件になりました。

1-3-1 共創による地域社会づくりの推進

- ・ 地区の課題解決に取り組む「地区協議会」に対して、活動に対する補助金、地域活動室の確保と提供、地域おうえんコーディネーターによるサポートといった支援を実施し、地域の盛り上がりにも寄与しました。また、地域で“やりたい”という思いを持った多様な主体と地区協議会との連携を進め、地域活動のつながりを深めました。これらの取組の結果、地区の課題解決のためのプロジェクトが 82 件生まれました。

1-3-3 市政モニタリングの実施

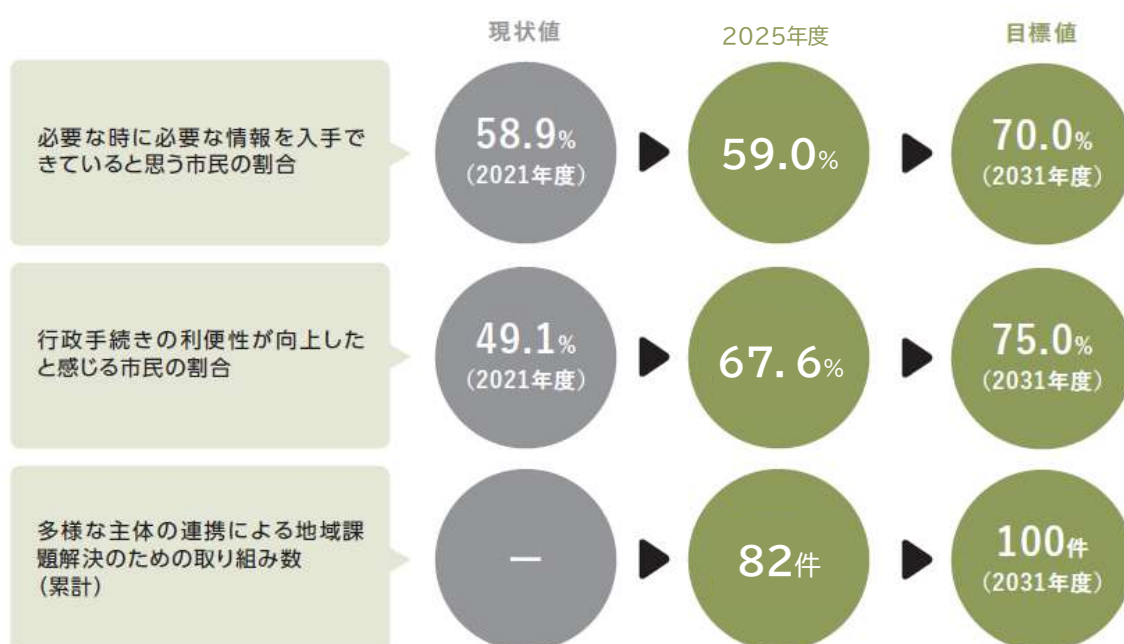
- ・ 「子どもにやさしいまち」の実現のため、CFCI チェックリストの評価に基づく改善として、2 件の取組を行いました。民間企業と連携して子どもの主体的な活動を後押しする取組として、「まちだ若者大作戦」の成果を報告するパネル展示イベントを実施したほか、子どもたちの意見を市政に反映させる取組として、「（仮称）町田市 5 ヶ年計画 27-31」の策定にかかるアンケートやワークショップを行いました。
- ・ 2024 年度に実施した市民参加型事業評価で示された改善プログラムのうち、17 件を改善しました。具体的には、公園に移動販売車を導入し公園の魅力アップに繋がったほか、若者の意見を取り入れた市の魅力発信を行うため、20 名の若者による動画作成を行いました。

基本方針 1 共創で新たな価値を創造する

めざす姿

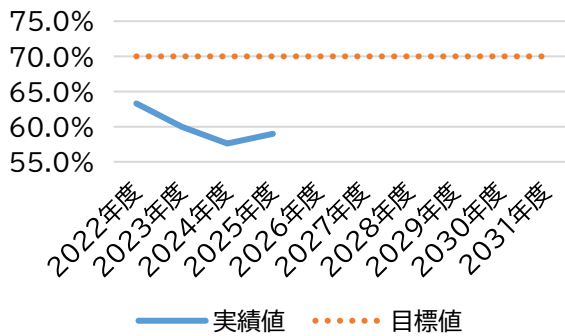
- 市民それぞれの知りたいことが共有され、活用できる環境が整っています。
- テクノロジーを活用し、誰もが時と場所を問わず受けられる最適な行政サービスが提供されています。
- 多様な主体がアイデアを出し、地域の活性化や市の抱える課題解決に取り組んでいます。
- 自治体間の連携を強化することで、市域を越えた行政サービスが提供されています。

めざす姿の実現度を測る指標

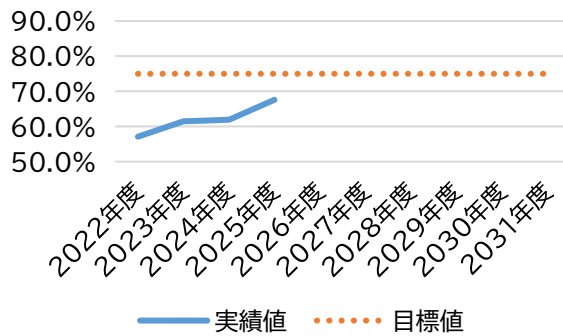


指標の経過

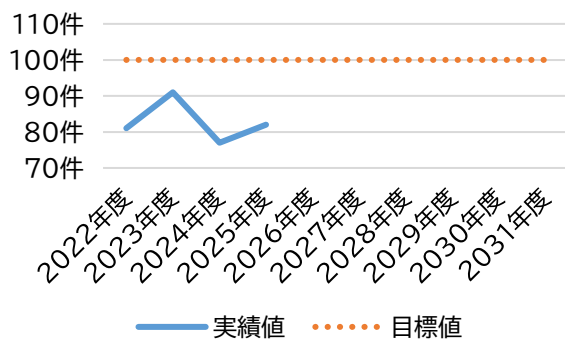
必要な時に必要な情報を入手
できていると思う市民の割合



行政手続きの利便性が向上したと
感じる市民の割合



多様な主体の連携による地域課題解
決のための取組数(累計)



基本方針を実現するため取り組み

- 顧客に合わせた情報発信の拡充
- 市民の声を市政に反映する仕組みの拡充
- マイナンバーカードの普及及び利用促進
- 共創による地域社会づくりの推進
- 市政モニタリングの実施
- 緊急時における情報発信の強化
- オープンデータの充実
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 外部意見の活用
- 非常時に備えた組織体制の構築

2

対話を通して 市役所能力を高める



2025年度の主な成果

2-1-1 事務事業の見直し

- ・ 市役所業務の見直しをプロジェクトにより推進し、改革・改善に取り組みました。2025年度は、「公共施設の管理運営事務の効率化」、「財務会計事務の適正化」や「全庁的なアナログ規制の見直し」など計27業務の改善を実施しました。
- ・ 市役所業務のデジタル化や生成AI等の活用により、市役所の生産性の向上を図りました。2025年度は、年末調整・任用・休暇などに関する職員からの問い合わせを、生成AIがマニュアルを参照して自動で回答するチャットボットを導入するなど、デジタル技術を活用した業務改善の取組を232件実施しました。

2-1-2 職員定数の適正化

- ・ 市民サービスの向上と業務の効率化に向けて、業務の実施手法の見直し等による職員定数の削減や、市職員が担うべき業務への重点的な職員配置を行いました。2025年度の職員定数は前年度と比べて31人減の2,160人となりました。

2-2-2 人材の確保と育成の推進

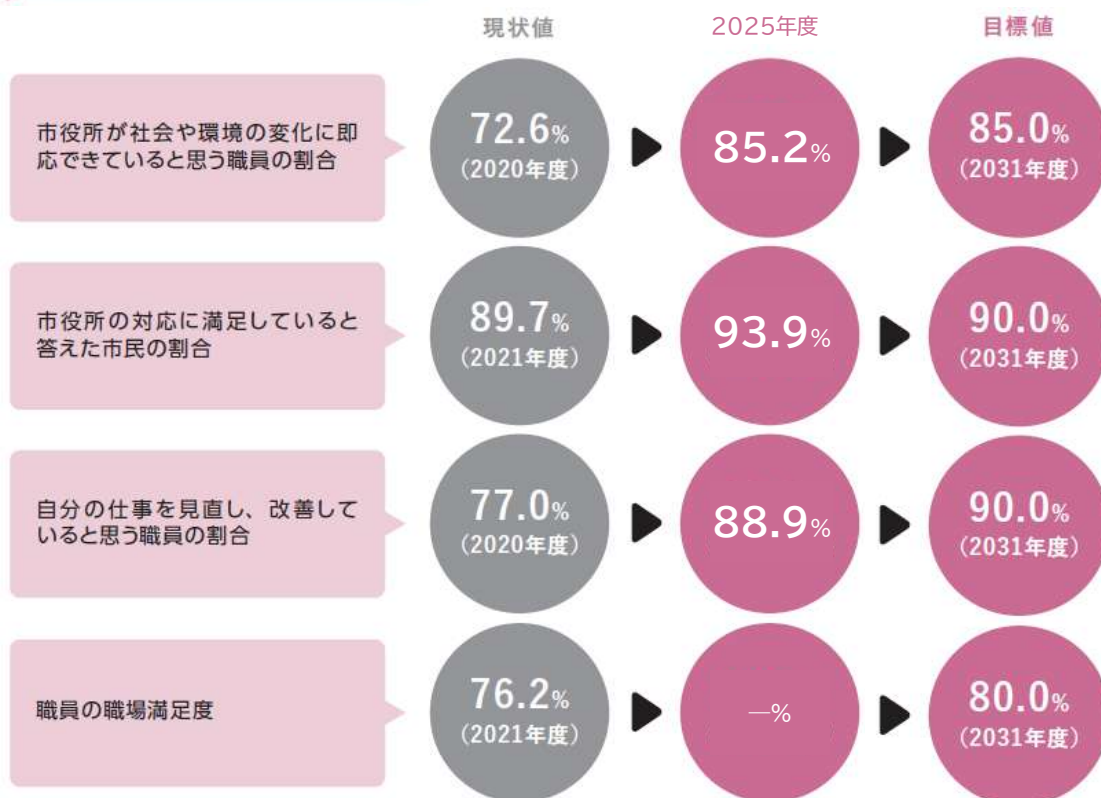
- ・ 多様な人材が職員採用試験を受験しやすいように、一般事務（大卒程度）における教養試験コースを新設しました。また、2024年度に実施した土木技術職及び建築技術職に加えて、機械技術職及び電気技術職における主任職採用を実施しました。さらに、行政としての知識や経験を備える即戦力人材を採用するため、町田市会計年度任用職員の経験がある者を対象とした募集枠を新設しました。
- ・ 職員のキャリア意識の醸成のために、新規採用職員と入職3年目職員を対象として、新たに「町田市職員メンター制度」の運用を開始しました。また、4月に制度の周知とメンタリングスキルの活用法についての研修を実施し、さらに10月にメンタリング及びコミュニケーションのスキル向上を目的とした研修を実施しました。

基本方針 2 対話を通して 市役所能力を高める

めざす姿

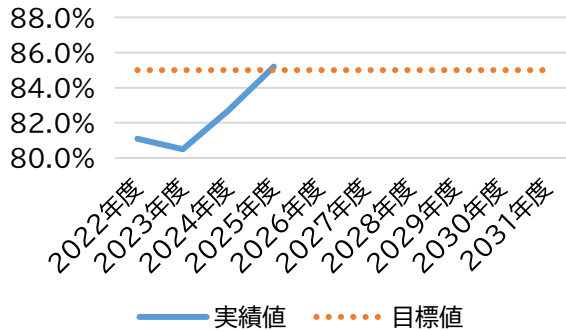
- 社会情勢や行政需要の変化に柔軟に対応できるよう、組織能力の強化に取り組んでいます。
- 市民視点を持って新たなことに挑戦する職員が育成されています。
- すべての職員が、心身ともに充実した気持ちで、やりがいを持って業務に取り組む職場環境が整備されています。

めざす姿の実現度を測る指標

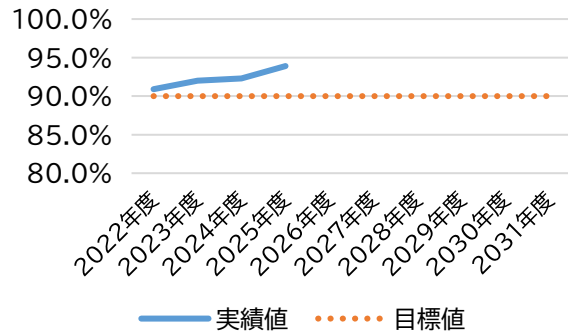


指標の経過

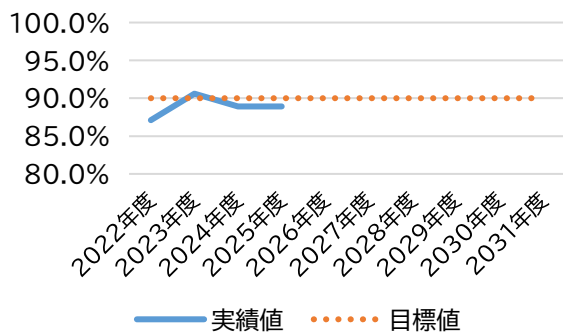
市役所が社会や環境の変化に即応できていると思う職員の割合



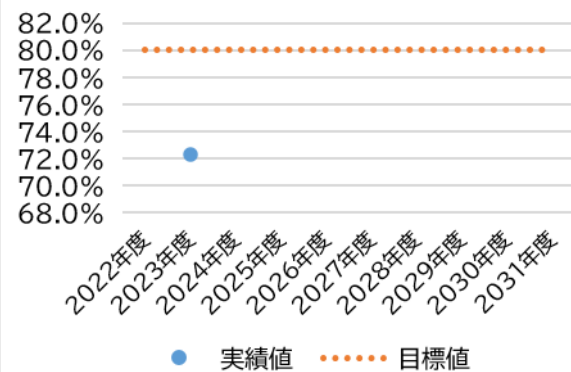
市役所の対応に満足していると答えた市民の割合



自分の仕事を見直し、改善していると思う職員の割合



職員の職場満足度



基本方針を実現するため取り組み

- 事務事業の見直し
- 非常時に備えた組織体制の構築（再掲）
- 社会保険料に係る収納事務の民間委託及び統合
- 学校用務業務の運営体制の最適化
- 小中学校における学校経営の支援
- 職員が能力を発揮できる職場環境づくり
- 職員定数の適正化と事務決裁規程の見直し
- 市税業務改革
- 学校給食業務の運営体制の最適化
- 学校事務業務の運営体制の最適化
- 市民センター等における最適なサービスの構築
- 人材の確保と育成の推進

次世代につなぐ 財政基盤を確立する



2025年度の主な成果

3-1-4 国民健康保険事業財政の健全化

- ・ 「第6期町田市国民健康保険事業財政改革計画」に基づき、計画的・段階的な国民健康保険税率の見直しや、様々な取組によるインセンティブ交付金の獲得、多様なキャッシュレス決済の導入による保険税徴収の適正化を進めました。これらの取組により、目標値と比較し、国民健康保険事業財政の赤字額が4.5億円減少しました。

3-1-7 市庁舎の適切な維持管理と財源確保

- ・ 市庁舎スペースの貸付など、市庁舎の有効活用を実施しました。
- ・ ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を使って得られたデータを分析・活用することや、町田市バイオエネルギーセンターで発電された電力を使用することで、CO₂排出量が大幅に減少しました。これらの取組により、市庁舎のCO₂排出量は2020年度に比べ1,608t減少（87%減）しました。
- ・ ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」のガバメントクラウドファンディングを活用し、ひとり親家庭にお弁当を届ける「おうちでごはん」や、若者のやりたいことを実現する「まちだ若者大作戦」など、使い途を限定した期間限定の寄附募集を9件実施しました。

3-1-8 新たな資金運用の推進

- ・ 町田市資金管理計画に基づき、安全性を最優先にしながら中長期の債券の購入や大口定期預金の分散預入などの資金運用を実施した結果、運用収益の目標を達成することができました。

3-1-9 道路アセットマネジメントの推進

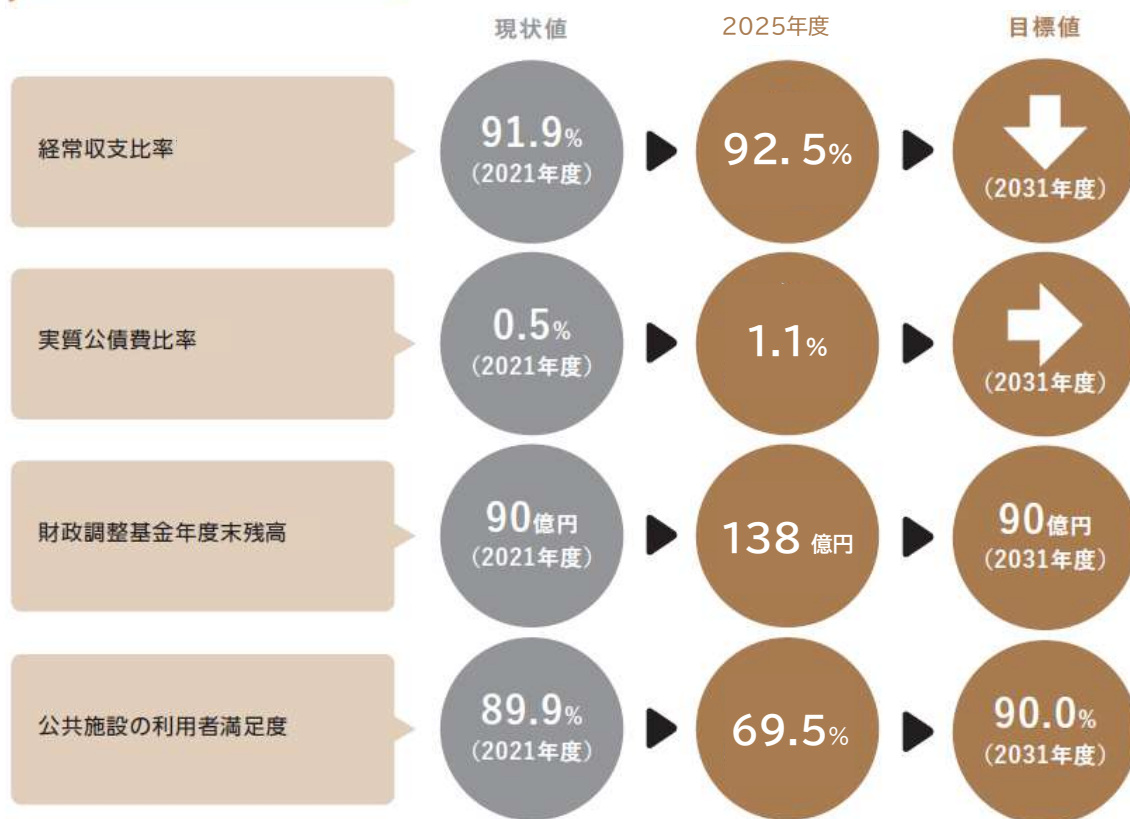
- ・ 持続的な維持管理を実現するため、長寿命化修繕計画に基づき、橋梁、ペデストリアンデッキ、トンネル、横断歩道橋等の道路施設を計画的に点検・修繕しました。
- ・ 街路灯の効率的な点検手法や点検結果に基づく健全度の評価手法などについて検討を行い、適切な維持管理とコストの低減や平準化を図るための「町田市街路灯管理計画」を策定しました。

次世代につなぐ 財政基盤を確立する

めざす姿

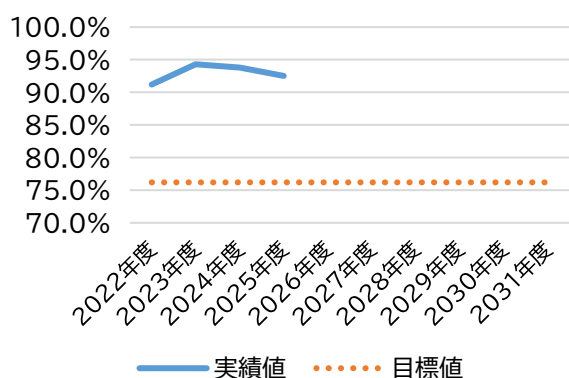
- 財務情報を資産管理や事業評価などに活用することにより、財政運営に関するマネジメント力が強化されています。
- 市の財政負担の軽減を図りながら事業を推進しています。
- 公共施設などを総合的かつ計画的に維持管理・活用しています。また、公共施設の再編を通じて「公共施設・公共空間のより良いかたち」が実現されています。

めざす姿の実現度を測る指標

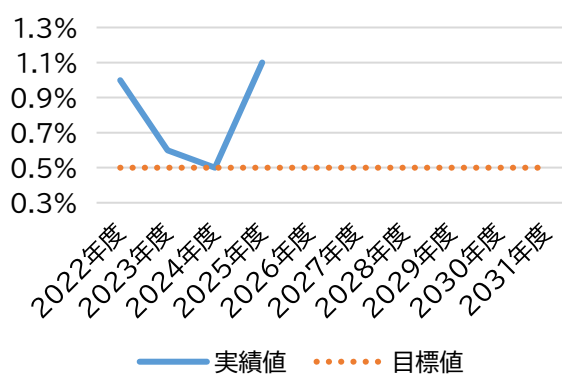


指標の経過

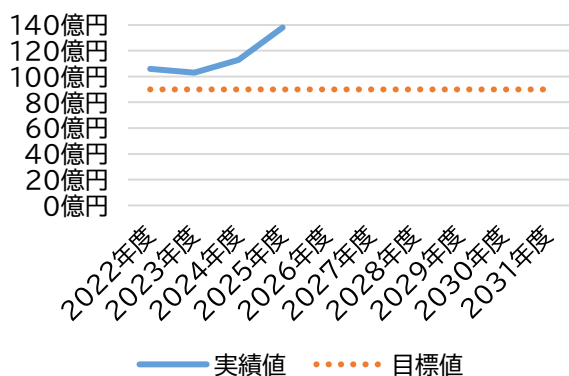
経常収支比率



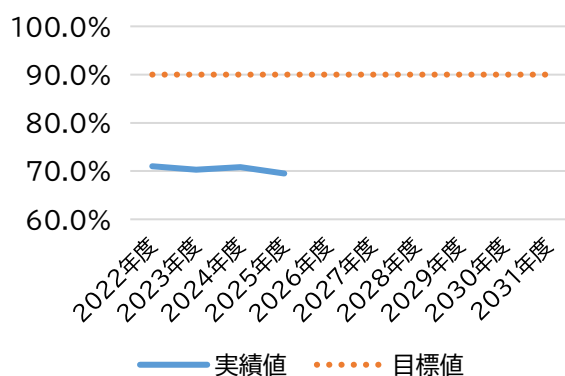
実質公債費比率



財政調整基金年度末残高



公共施設の利用者満足度



基本方針を実現するため取り組み

- 行政評価シートのさらなる活用
- 受益者負担の適正化
- 下水道経営基盤の強化
- 市庁舎の適切な維持管理と財源確保
- 道路アセットマネジメントの推進
- 公共施設の管理運営手法の最適化
- 市債発行額と財政調整基金残高の適正管理
- 国民健康保険事業財政の健全化
- 病院事業の経営改善の推進
- 新たな資金運用の推進
- 公共施設再編の推進

「財政見通し」と決算見込額との 比較分析

6 「財政見通し」と決算見込額との比較分析

(1) 計画額と決算見込額との比較

歳入・歳出ともに、2025年度決算見込額が計画額を上回りました。歳入は、市税など全ての項目で計画額を上回りました。歳出は、義務的経費において、人件費や扶助費などが計画額を上回りました。また、その他の経費のうち、繰出金等及びシステム経費が計画額を下回りましたが、経常事業費及び政策的事業費が計画額を上回りました。

(単位:百万円)

歳 入(一般財源)	2025年度(令和7年度)			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	95,978	125,834	29,856	
市税	69,620	74,841	5,221	主に個人市民税や法人市民税の増加により、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	14,121	24,750	10,629	主に地方交付税や地方消費税交付金が想定よりも多かったことにより、計画額を上回りました。
基金繰入金	4,000	10,264	6,264	主に財政調整基金繰入金の増加により、計画額を上回りました。
その他	8,237	15,979	7,742	主に前年度繰越金が見込みを上回ったことにより、計画額を上回りました。

(単位:百万円)

歳 出(一般財源)	2025年度(令和7年度)			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	98,393	119,452	21,059	
義務的経費	40,986	46,663	5,677	
人件費	18,882	21,938	3,056	正規職員人件費が計画額を上回りました。
正規職員	15,642	18,047	2,405	
うち退職手当	353	982	629	
会計年度任用職員	3,240	3,891	651	
扶助費	13,138	15,930	2,792	主に児童福祉費の増加により、計画額を上回りました。
公債費	8,966	8,795	△ 171	
その他の経費	57,407	72,789	15,382	
繰出金等	18,215	18,181	△ 34	主に後期高齢者医療事業会計繰出金が見込みを下回ったことにより、計画額を下回りました。
事業費	39,192	54,608	15,416	
経常事業費	28,115	40,933	12,818	財政調整基金への積立金の増加などにより、計画額を上回りました。
政策的事業費	7,678	10,818	3,140	鶴川駅周辺街づくり事業や橋梁保全事業などの増加により、計画額を上回りました。
システム経費	3,399	2,857	△ 542	

歳入－歳出 (=収支差額)	▲ 2,415	6,382	8,797	
------------------	---------	-------	-------	--

各財政指標は、暫定値です。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2026年(令和8年)5月31日現在のものです。

-
- 財政指標見通し
- | 年度 | 公債費負担比率 (%) | 実質公債費比率 (%) | 経常収支比率 (%) |
|------|-------------|-------------|------------|
| 2021 | 6.8 | 0.9 | 86.7 |
| 2022 | 6.4 | 1 | 91.2 |
| 2023 | 6.9 | 0.6 | 94.3 |
| 2024 | 7 | 0.5 | 93.8 |
| 2025 | 7.2 | 1.1 | 92.5 |
- 公債費比率・実質公債費比率
- 公債費負担比率
- 実質公債費比率
- 経常収支比率
- 年度